

SSK 1971年6月17日第三種郵便物認可(毎月6回5の日-0の日発行)
2014年1月5日発行 SSK増刊通巻第4332号

Jiba LiBRE

リブレvol.32



障がい者の音楽コンテスト

10周年記念ゴールドコンサート 報告書(映像DVD付き)



この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<http://ringring-keirin.jp>

10周年記念ゴールドコンサート開催記録	2
組織委員会会長より挨拶	4
実行委員長より挨拶	5
協賛者よりメッセージ	6
特別ゲスト	9
受賞結果・出場者一覧	11
受賞者の声 グランドチャンピオン <山下 純一>	12
受賞者の声 第2位・観客賞 <森 圭一郎>	14
受賞者の声 第3位 <佐藤 英里>	16
受賞者の声 審査員特別賞 <Darjiling >	18
出場者の声	20
特別出場者の声	26
審査員長よりメッセージ	27
司会者よりメッセージ	28
舞台進行よりメッセージ	29
実行委員よりメッセージ	30
観客アンケート結果	32
ボランティアアンケート結果・収支決算書	34
協力者の皆様	36
審査員・特別ゲスト・ご挨拶・司会の皆様	39
組織委員会・実行委員会・事務局	40
スタッフTシャツ紹介	41
ゴールドコンサート 10回を振り返って	42
ゴールドコンサート開催記録	46
トルコ・デンマーク視察報告	48
GC グランドフェスティバル開催報告	52





10周年記念ゴールドコンサート開催記録

日時 2013年10月14日（月・祝）

場所 東京国際フォーラム ホールC

ゴールドコンサートとは……

ゴールドコンサートは、障がい者の音楽コンテストである。国内および海外から選抜された約10組のミュージシャンが、毎年東京国際フォーラムに集まり、グランプリをめざす。また過去の出場者がメジャーデビューを果たすなど「障がい者の音楽祭」「障がいをもつミュージシャンの登龍門」としてのポジションも確立しつつある。

趣旨

障がいをもつミュージシャンのコンテストであるゴールドコンサートは、出場者をはじめ企画運営に関わる者まで障がい当事者で占められている。このコンサートに、行政、企業、学校、地域の人々に広報、協賛、ボランティア、観覧、インターネットによる視聴など様々な形で参加してもらうことにより、できるだけ多くの方に障がい者の自立、社会進出の必要性を認識してもらう。もって、誰もがやる気や実力に応じて参加できるノーマライゼーション社会の実現に貢献する。

内容

- ・過去9回の大会でグランプリを受賞したミュージシャンおよび韓国の障がい者音楽コンテスト優勝者による、グランドチャンピオンを決めるコンテスト。この10組からグランドチャンピオンその他各賞が選ばれ授与が行われた（その他、国際交流の一環としてパキスタンから特別出場1組あり）。
- ・特別ゲストとして雅楽師の東儀秀樹さん、ジャズピアニストのマシュー・ウィットカーさん（アメリカより来日）が出演。第9回ゴールドコンサート（2012年）グランプリ受賞者の佐藤英里さんとの共演も行った。
- ・長年、ゴールドコンサートをサポートしてくださっている「アドビ システムズ 株式会社 代表取締役社長 クレイグ・ティーゲル様」「関西学院大学 学長 井上琢智様」「明治安田生命保険相互会社 取締役 代表執行役社長 根岸秋男様」に感謝状の贈呈が行われた。

出場組数 10組（プラス特別出場1組）

来場者 1,045名（児童・生徒招待265、車いす39含む）

出場関係者 約 90 名（出場者約 25 名、キャスト・介添者約 65 名）

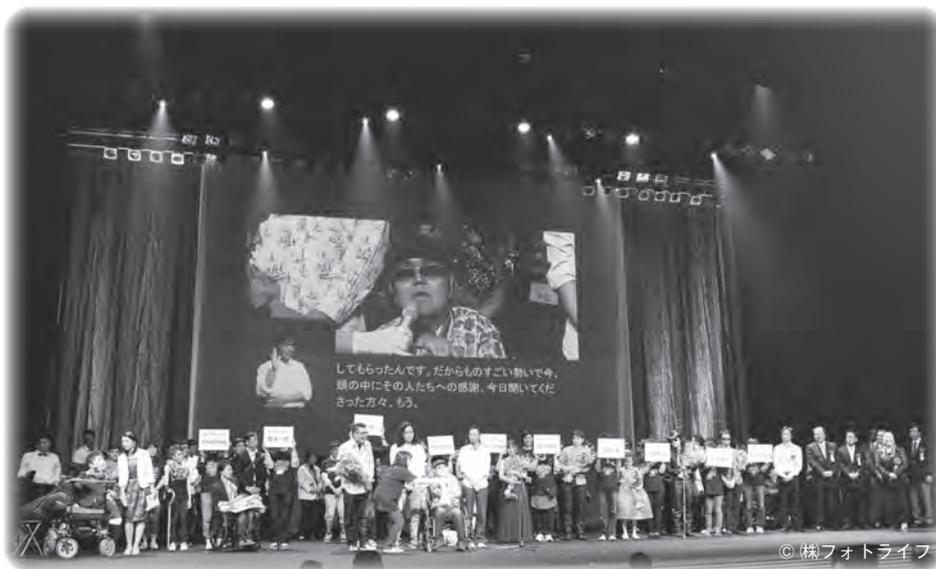
スタッフ数 約 250 名（ボランティア含む）

インターネットアクセス数 554 件

当日取材件数 8 件（テレビ局 3 社、新聞社 3 社、その他 2 社）
NHK 総合『おはよう日本』（全国放送）など

受賞結果

グランドチャンピオン	山下 純一	「やりたい放題 Music!」
第 2 位	森 圭一郎	「赤い紐」
第 3 位	佐藤 英里	「かぞくのうた」
観客賞	森 圭一郎	「赤い紐」
審査員特別賞	Darjiling	「ココロ ~ GC version ~」



♪ 組織委員会会長より挨拶



© 晴山寛子

10周年記念ゴールドコンサートは、多くの皆さまの応援のもと、盛況のうちにコンサートを終えることができました。今回のコンサートを含め、ゴールドコンサートが10周年という節目を迎えることが出来たのは偏にこれまでにいただいた皆さま方からの温かいご支援の賜物と存じます。

ご来場いただいたお客様はもちろん、出場者、協賛いただきました団体・個人のみなさま、ボランティアスタッフ、たくさんの方々に支えられて参りました。組織委員会会長として心より厚く御礼申し上げます。

ゴールドコンサートは、当初、障がいを持つアマチュアのミュージシャンにコンテスト形式での音楽表現の場を設けること、そして、出場者のその後の音楽活動を支援することを目的として始められました。また、障がいを持つ当事者が、企画から当日の運営において、コンサートを行うすべてのプロセスに関わることにより、障がい者の社会進出の拡大や自立を促し、ユニバーサル社会の形成に貢献できる事業といたしました。

振り返ると、開催第1回目のコンサートの入場者数は188名でした。コンサートの規模としては決して大きいものではありませんでした。

しかしその後、皆様のご支援のもと、コンサートの認知度が高まるにつれ、マスメディアからの取材や出場希望のオーディション応募者も増加し、提供する音楽レベルも着実に向上してまいりました。また、ゲストとしてプロのアーティストを招き、出場者との共演を行ったことや、世界各国からもミュージシャンが参加するようになるなど、10年の間に



衆議院議員

の だ
野 田 聖 子

様々な試みや成果を挙げてまいりました。それらの実績に比例し、年々コンサートの規模も拡大することができました。

そして、今回の10周年記念コンサートでは、これまでで最多記録となる1,045名のお客様にご来場賜りました。また、内容についても、過去9回のグランプリ受賞者が出演し、グランドチャンピオンを決めるコンサートとあって、会場は大変な熱気と感動に包まれ、ご来場された皆様に、楽曲や演奏についても史上最高のものであったとの評価をいただきました。

ただし、私は、このコンサートに出場することやグランプリの受賞を最終の目標としていただくのではなく、このステージで頑張った人たちが、プロのミュージシャンとして自立した活躍ができるようなきっかけの舞台としていただきたいと考えております。

たとえば、「レコード大賞」や「紅白歌合戦」にゴールドコンサート出身者が出場するといった、より高い目標を掲げて皆様とともに頑張りたいと思います。現に、これまでの出場者やグランプリ受賞者の中には、CDデビューを果たした方や、本の出版、映画等への出演をされる方など、多方面で活躍をされている方々がたくさんいます。決して手の届かない夢ではありません。

私どももコンサートが10周年を迎え、今後はより大きな目標を掲げ、事業の改善に取り組むなど一層の努力をして参ります。皆様におかれましては、ゴールドコンサートの趣旨をご理解いただき、コンサートのさらなる発展と真のユニバーサル社会実現のため、今後も引き続きのお力添えを賜りたく、よろしく願い申し上げます。

♪ 実行委員長より挨拶



10周年記念
ゴールドコンサートは皆様のおかげ
をもちまして無
事終了いたしました

た。心より感謝申し上げます。

今回は観客動員 1,045 人とこれまでの最高を記録し、NHK の「おはよう日本」および朝日新聞の「生活面」の全国版、という影響力のあるメディアに取り上げていただき認知度が上がりました。

イベントの中身につきましても、皆様より好評をうけています。過去 9 回のグランプリが集まるグランドチャンピオンということで、楽曲や演奏のレベルが高かったとおっしゃっていただいています。

グランドチャンピオンの山下純一さんと 2 位の森圭一郎さんは審査においても観客の投票においても僅差でした。また、特別ゲストの東儀秀樹さん、マシュー・ウィットカーさんにおいては、前回グランプリの佐藤英里(ひらり)さんとのコラボレーションをはじめ、ソロ演奏も大変な好評を博しております。

草の根の国際交流もまた一歩新たな段階を迎えました。今回は、韓国に加えパキスタン、アメリカと初めて 3 か国からミュージシャンをお迎えすることができました。特に翻訳や通訳に関わってくださったボランティアさんに敬意を表したいです。

まさにこれまでのゴールドコンサートの集大成となる 10 周年記念となりました。

振り返ってみると、本当に多くの人々に様々な形で関わっていただきました。多くの人々の力が結集した結果がこの 10 周年につながりました。

まず、全国に散らばる障がいをもつミュージシャンから延べ 700 組以上の応募があり、その作品に触れられたのは大きな財産です。また、毎年約 10 組の様々な障がいをもつミュージシャンと直接お会

NPO 法人日本バリアフリー協会 代表理事
かいや よしひろ
貝谷 嘉洋

いして交流でき心が豊かになりました。特に、海外から来日してくれた人々との交流は貴重でした。

次に、有志で運営に関わってくださってきた委員、当日のボランティア、音響・照明などの専門スタッフの皆さんと知り合えたことも財産です。知識面、精神面で未熟な私をよく支えてくれました。

特別ゲストとして演奏してくださった著名なアーティストの方たち、お忙しい中審査員となってくださってきた先生方、音楽イベントとしてのクオリティを著しく押し上げていただきました。

最後に観客の皆さん。チケットを買って足を運んでくださったのは、文字通り有難かったです。

ゴールドコンサート 10 回を開催する中で、私は皆さんとの関わりにおいて、学びそして感動してきました。心より感謝いたします。

今後もゴールドコンサートを引き続き開催していく予定です。もっと多くの障がいをもつミュージシャンに参加してもらい、あるいは音楽を始めるきっかけにしてもらうことが、これからの最大の課題だと思っています。

皆さんのおっしゃることに耳を傾け、よりよいゴールドコンサートを作っていくことができればそれ以上の喜びはありません。

今後ともどうぞご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



♪ 協賛者よりメッセージ



ファイザー株式会社 代表取締役社長
うめだ いちろう
梅田 一郎

10周年記念ゴールドコンサートの成功おめでとうございます。

記念大会ということもあり、海外からの参加者の素晴らしい演奏があり、そして日本の参加者の皆さんもそれに負けないくらいレベルの高い演奏をされ、会場を埋め尽くした様々な障がいを持つ方々やそのご家族、一般参加者の方々に、大きな勇気を与えられました。厳しい障がいを抱えても、音楽を通じて世界に発信していく大きな力があることを示されました。本当に素晴らしく、感動の一夜

でした。例年にも増して、暖かい気持ちで帰途に就くことができました。

第1回を開催されるまでの大変な御苦労と、そのあと10年継続することのご苦労。本当に言葉に尽くせぬものがあったことと拝察します。当事者の皆さん、ボランティアの皆さん、スタッフの皆さんのご努力に心より敬意を表します。

今、日本は長い経済低迷期を乗り越えて、少し活力を取り戻しつつあるようです。そのような時にも、いやそのような時にこそ、決して忘れられることなく、障がい者支援の輪がさらにさらに大きく広がっていくことを願ってやみません。



アドビ システムズ 株式会社 代表取締役社長
President and Representative Director Adobe Systems Co., Ltd.

クレイグ ティーゲル Craig Tegel

First and foremost, I would like to extend my sincere congratulations on the tremendous

success of the 10th Anniversary Gold Concert, and to the Japan Barrier-free Association and the volunteers for your accomplishments over the years.

There is a word “god-sent talent”, but this alone is not an accurate representation of the exceptional challenged musicians who

participate in the Gold Concert. I realize their performances are the culmination of their tireless effort and the passion to inspire and empower other people through music. That is why we are so moved by their performances. And they prompt us to ask ourselves, “What can we do for others?”

All of us at Adobe wish further success and development of the Gold Concert, and we look forward to continuing to support the event in 2014 and beyond.

まず何より、このたびは「10周年記念ゴールドコンサート」の大成功、大変おめでとうございます。日本バリアフリー協会様、そしてボランティアの皆様のご長年にわたる取り組みの結実に、心よりお祝い申し上げます。

「天賦の才能」という言葉がございます。しかし、この一言のみをもって、ゴールドコンサートに参加されている、障がいのある卓越したミュージシャンの方々を表現しきれものではありません。ミュージシャンの方々の演奏や歌唱は、不断の努力、ならびに音楽を通じ他者にインスピレーションを与え、勇気づけたいという情熱のたまものであるに違いありません。だからこそ、その音楽は私たちを感動させてやまないのです。そして、「他の人々のために、『私たち』は何ができるだろう？」と自らに問うきっかけを与えてくれます。

アドビ システムズ 株式会社の全社員が、ゴールドコンサートのさらなる成功と発展を心からお祈り申し上げます。弊社では2014年以降も引き続きご支援をさせていただきたく存じます。

協賛者よりメッセージ



明治安田生命保険相互会社 取締役 代表執行役社長

ねぎし あきお
根岸 秋男

10周年記念ゴールドコンサートの成功を心よりお喜び申し上げます。

この10年間の主催者をはじめ多くのスタッフの方々、そしてなによりも演奏者の皆さまに深く敬意を表します。

今回のコンサートは、10周年グランドチャンピオンシップであり、過去の歴代チャンピオンが歌唱力・演奏力そしてパフォーマンスを競われましたが、その内容の素晴らしさはもとより、演奏者のみなさん一人一人の人生・生きざまが感動を伴ってメッセージとして表現されていたと思います。まさに、障がいのある方の音楽コンサートとしてのゴールドコンサートの無

限の可能性を感じました。

また、当社の職員は、毎年ボランティアとして、ゴールドコンサートの運営に参加することを本当に楽しみにしております。他の多くのボランティアの方々、そして出演者、観客と一体となってゴールドコンサートを成功させる喜びを感じております。このような機会を与えていただいたことにあらためて感謝申し上げます。

近年、観客動員数やメディアの注目度等、ゴールドコンサートの認知度が上がっているとお聞きしております。今年で10年を迎えたゴールドコンサートが今後、15年、20年と障がいのある方の自立促進にむけ、ますます社会的に存在感を発揮していかれることを心よりお祈り申し上げます。



関西学院大学 学長

いのうえ たくとし
井上 琢智

ゴールドコンサートがここに10周年という節目を迎えられ、また盛会のうちに終えられましたこと

に、心からお祝いを申し上げます。一粒の小さな“種”が蒔かれて10年。いまや一本の“樹”となり、多くの人びとを支え、癒やし、勇気を与えるまでに成長しました。第一回から協賛させていただいてきた関西学院大学といたしましては、喜ばしい気持ちで一杯です。

音楽は、演奏する人びとの心を表現する、いわば「想いの伝道者」です。音楽は、聴く人びとに寄り添い、心を自由にします。たとえ自らが厳しい状況におかれ

た時でも、演奏する人、聴く人それぞれの研ぎ澄まされた心に生きる糧を与え、前向きな気持ちにしてくれます。音楽は、言語や文化、風習、習慣の違いを越え、一人ひとりの心に通底する「絆」となりうるものなのです。

このコンサートがこれまで大きな成功を収めてきたのは、その社会的意義に賛同し協力を申し出る「共感」者が多くおられたからでもあるでしょう。そのことはこの取り組みがいかに社会に求められていたものであったかを示しています。ゴールドコンサートがさらに多くの「共感」者を得て、やがて全国各地にそれらを繋ぐ“大樹”となり、これまで以上に人と人との「絆」を強めていくものとなることを願っています。



♪ 協賛者よりメッセージ



株式会社コヤマドライビングスクール 代表取締役社長

こやま じんいち
小山 甚一

皆様も感慨深い思いをお持ちのことと存じます。

そもそも弊社がゴールドコンサートを知ったのは社員からの情報でした。その趣旨に賛同し第2回目から協力させていただいております。そしてゴールドコンサートにボランティアで参加した社員が受けた感銘

ゴールドコンサート成功おめでとうございます。10回目という節目を迎え貝谷様はじめ関係者の

はとても大きなものがあります。これからも積極的に協力させていただきます。

また、弊社主催の健聴者とうろう者のコミュニケーションを広げる活動「D'LIVE」も今年10回目を迎えました。ゴールドコンサートとD'LIVEがこれからも20回30回と発展し、ハンディキャップを持った方々の活躍の場を末永く提供して行けるようお互いに切磋琢磨してゆければと思います。

本当に10周年記念ゴールドコンサート成功をお祝い申し上げます。



©川津貴信

「すごい!」「素敵!」「チケット代の3倍の値打ちがあったわね!」「今回が今までで一番よかった!」帰り道の感動冷めやらぬ興奮のなかで、私ども「国際ソロプチミスト川崎」の会員が口にした言葉です。

多くの困難を乗り越えて、ご自分の思いや願い、祈りを込めて曲を作り、演奏される姿は聴く人に大きな感銘を与えてくれました。演奏する人も聴く人も障害のあるなしを超えて夢と希望と勇気を分かち合う素晴らしい時間を共有できたと感じております。

そしてこの素晴らしいコンサートを支えたスタッフの方々、ボランティアの方々のご努力に心から敬意を

「すごい!」「素敵!」「チケット代の3倍の値打ちがあったわね!」「今回が今までで一番よ

国際ソロプチミスト川崎 会長

やまもと やすこ
山本 泰子

払うとともに、ほんの少しでもそのお手助けができたことをとてもうれしく思っております。

2000年にソロプチミスト日本財団の「社会ボランティア賞」に、私どもが推薦し受賞された貝谷嘉洋氏が、この「ゴールドコンサート」を立ち上げられて以来、私どもは継続して支援をさせていただいてまいりました。

回を追うごとに驚くほどの進歩と充実を遂げてきたこのコンサートは「松明は引き継がれた。」という故ケネディ大統領の言葉通り、貝谷氏の志を継いでますますの発展を遂げていくと確信しております。ゴールドコンサートのますますのご発展を、会員一同、心よりお祈りいたします。がんばれ! ゴールドコンサート!!



特別ゲスト

英里さんとのコラボはいかがでしたか？

英里ちゃんの声の聞こえていると年齢を飛び越えているような感じで、12歳の声も、もっと大人っぽい声も、もっと子どもの頃の声も感じて、いろんなところを刺激してくれるすごい力のある歌声だと思います。だから、あえて僕は練習をあまりしなかったのは、ここで感じた生の歌声とピアノの音に巻き込まれていて、自分がどう吹くかを見てみたいと思っていたのです。それをやってみたら、今すごく優しい気持ちになっている自分がいて、すごく楽しい気持ちで楽器と対面している自分ももらえて、嬉しい気持ちになりました。**英里さんという一人のアーティストをどのようにお感じになりましたか？**

いろんな形で障がいを持っている方は多いと思いますが、自分の可能性を自分で見つけて、それを自分の力で切り開き、だけどあまり頑張っているという感じがしないところがすごい。普通の健常者が鼻唄を歌っているくらいの音楽との関わりを普通に楽しんでいる、それがいろんな人の刺激になるのではないかと思います。

お子さんにも音楽を？

代々続いている雅楽師だから、子どもは男の子が生まれて、継がせるとか音楽をやらせるとか、そういうことは考えていません。人の一生というのは、その人にできることを全うするのが一番いいと思います。音楽が向いているのか、もしかしたら宇宙飛行士になるかもしれないし、絵描きになるかも、学者かも……。わからないところを音楽の家だから音楽をというのはいらないし、1つの命に対して失礼な気がします。

僕は音楽が好きだったからたまたまこうなっているけど、好きなことを見つけて生きていき、充実して死んでもらえれば、それがきっと神様も宇宙も喜んでくれる生き方だと思うので、自由に生きてくれという感じなんです。

でも音楽は僕がやっているから大好きで、日頃から歌ったり楽器をおもちゃのようにいじる姿を見ると、



家族で演奏を楽しむ日は近いのかなってワクワクさせてもらっています。

東儀さんにとって音楽とは

本当に自由です。上手とか下手とか、こうでなければ

とうぎ ひでき 東儀 秀樹



ばいけないとか、あそこの道に行くにはこの道しかないというものが無いのが音楽の自由な魅力だと思います。そしてそれは誰にでも同じくらいのものが与えられて、同じように楽しむことができるのも魅力だと思います。

音楽に関していつも感じていますが、どんな形でも(例えば僕はハードロックも大好きですが)、その中にも何か優しさが織り込まれている感覚、空気、そんな風に見てほしいです。音楽もおしゃべりも何でもそうですが、音は出た瞬間から消えていきます。巻き戻すことはできません。だから、この「奏でる」ということにとても愛着を感じています。責任も誇りも感じています。自分が出した音、これは一瞬で消えていく。だからこそ、この一瞬を心を込めて見守って吹いていこうと、そう思っているのです。

今回演奏してみてどうでしたか？

実は第3回目にゲストで呼ばれ演奏しています。そのときにも大きなエネルギーや、純粋な心や、とてもいい会場の空気を感じて、いつかまた呼ばれたいと思っていたら、10回目という大きな節目にまた呼んでもらえて光栄です。僕のゲストが恒例になってほしいと思うくらい、今後も関わって何か力になりたいと思っています。このコンサートの、お客さんの空気も、ステージのアーティストの空気も、いろいろな人に自慢したいものを言葉で言えないけど感じています。そんな風に吹聴するのも僕の役目でもあるのではないかなという気がしています。

特別ゲスト

忙しいスケジュールの中、盲目の天才ジャズピアニスト、マシュー・ウィットカーさんが来日してくださいました。



© 川津貴信

マシューさんは、2001年生まれの子供の全盲の12歳。3歳の時、祖父から小さなヤマハキーボードをもらってから音楽を弾きたいという情熱を抱き、ニューヨークのThe Filomen M. D'Agostino Greenberg Music

Schoolに最年少5歳で入学し、クラシックピアノなどを学びました。2011年には、アポロシアターにてスティービー・ワンダーと共演を果たしています。また、アポロシアターのアマチュアナイトに参加し、年間の優勝を遂げています。

ゴールドコンサートでは、都庁スイングビーツの関口宗之さん（ベース）、橋本龍吾さん（ドラム）とのトリオで「All Blues」「Human Nature」「Spain」「Airegen」の4曲を演奏。普段は、とてもチャーミングなマシューさんですが、ひとたび演奏が始まるとミュージシャンの顔に変わります。トリオでのリハーサル時間が短かったにもかかわらず、情熱的で素晴らしい演奏を披露していただきました。

さらに、マシューさん自身の演奏に加え、第9回グランプリ佐藤英里さんとの「アメイジング・グレイス」のコラボもありました。2人は、英里さんがアポロシアターのアマチュアナイトに参加した際に交流を図り、ゴールドコンサート前日にもお話をされていたそうです。2人の息はぴったり合い、表情豊かな演奏で聴衆を魅了していました。



© 株フォトライフ

マシュー

ウィットカー

Matthew Whitaker



© 株フォトライフ

当日は、アポロシアターアマチュア・ナイトプロデューサー マリオン・J・カーフィー様と、ハーレムの文化財団ニューヘリテージシアター理事長 ポーザリバーズ様、理事国際プロデューサー 阿部勝弥様からの祝辞もいただきました。

翌日は、千代田区の和泉小学校で行われた音楽交流教室に参加いただきました。全校児童の前でソロ演奏と和泉小学校のバンド（ビッグバンド）とのコラボを行い、またマシューさんへの質問コーナーや、児童からの歌のプレゼントもあり、児童との交流を楽しめました。

和泉小学校の訪問後、日本バリアフリー協会事務所にて国際交流会を開き、お父様、お母様そして阿部様にもお話を伺う事ができました。

マシューさんはとてもパワフルで、色々なことに興味を持っている方です。演奏をするときはミュージシャンの顔になり、素晴らしい演奏を聴かせてくれます。音楽を楽しみながら演奏する姿が印象的でした。素晴らしい演奏ありがとうございました。



© 株フォトライフ



受賞結果・出場者一覧

受賞結果



グランドチャンピオン（ファイザー賞）

やました じゅんいち
山下 純一

曲目：やりたい放題 Music!

障がい種：視覚・肢体 / 地域：京都
副賞：音楽活動支援金 30 万円
トルコ航空ペア航空券（トルコ航空）
ピザラプレゼントチケット 10 枚
（株式会社フォーシーズ）
お煎餅詰め合わせ（株式会社アミノ）



© 大高英樹



第2位（日本信号賞）

もり けいいちろう
森 圭一郎

曲目：赤い紐

障がい種：肢体 / 地域：埼玉
副賞：スタイリッシュ CD ミニコンボ
（パイオニア株式会社）
U.L. ダウン ガイドパーカ（株式会社モンベル）
ピザラプレゼントチケット 10 枚
（株式会社フォーシーズ）
お煎餅詰め合わせ（株式会社アミノ）



第3位（フォーシーズ賞）

さとう ひらり
佐藤 英里

曲目：かぞくのうた

障がい種：視覚 / 地域：新潟
副賞：ポータブルミュージックシステム
（パイオニア株式会社）
U.L. ダウン ガイドパーカ（株式会社モンベル）
ピザラプレゼントチケット 10 枚
（株式会社フォーシーズ）
お煎餅詰め合わせ（株式会社アミノ）



観客賞（Meiji Seika ファルマ賞）

もり けいいちろう
森 圭一郎

曲目：赤い紐

障がい種：肢体 / 地域：埼玉
副賞：U.L. ダウン ガイドパーカ（株式会社モンベル）
ピザラプレゼントチケット 10 枚
（株式会社フォーシーズ）
お煎餅詰め合わせ（株式会社アミノ）



審査員特別賞

ダージリン
Darjiling

曲目：ココロ～GC version～

障がい種：内部・肢体 / 地域：東京
副賞：U.L. ダウン ガイドパーカ（株式会社モンベル）
お煎餅詰め合わせ（株式会社アミノ）

出場者一覧

出場者名	曲目	障がい種	地域
ザ ジェイビーフ The J.B. f	ハナビ	視覚／知的	静岡
あなざわ ゆうすけ 穴澤 雄介	かいきょう わた がぜ 海峡を渡る風	視覚・内部	東京
さとう ひらり 佐藤 英里	かぞくのうた	視覚	新潟
いしの てる 石野 輝	たいせつ ひと 大切な人	肢体	東京
まえかわ ゆみ 前川 裕美	ゆうき 勇気	視覚	兵庫
ザ サウンド The Sound	Thank you for the music	視覚	韓国
おおいし あやこ 大石 亜矢子	えがお 笑顔のブーケ	視覚	東京
やました じゅんいち 山下 純一	やりたい放題 Music!	視覚・肢体	京都
もり けいいちろう 森 圭一郎	あか ひも 赤い紐	肢体	埼玉
ダージリン Darjiling	ココロ～GC version～	内部・肢体	東京
オマー・パーヴェイズ（※特別出場者）	Mery Pagal Piya	肢体	パキスタン



受賞者の声



グランドチャンピオン

やました
山下

じゅんいち
純一

メンバー:山下 純一 (ハーモニカ、ボーカル、パーカッション)
福田 尚生 (ベース)、今堀 良昭 (ギター)、斉藤 慶司 (ドラム)

ゴールドコンサートに出場した感想をお聞かせください

過去9年のグランプリ受賞者と、韓国の大会の優勝者と競い合うということで、出場を決めた時から、コンテストに照準を合わせてこれまで以上の意気込みで臨んだ大会でした。やはり、出場するからには一番になりたかったですからね～。その意気込みに比例して、緊張はすごかったですよ～。

音楽活動を始めたきっかけを教えてください

中学生の頃、入院中のベッドで孫の手を2本持って、曲に合わせてリズムを取って遊んでたのをきっかけにドラムに目覚めました。しかし、自分の手足の不自由さを知っていた僕は、学校の先生になかなかドラムセットの前に連れて行ってほしいと言えなかったのを覚えています。先生を困らせたくなかったんですね～、「え～、で、できるか～??」ってな感じで(笑) 僕自身、できるかどうかわからないし、怖かった。でも、一度、セットの前に行ったらば、もう夢中になりましたね!

その後、病気の進行により、ドラムから離れざるを得なくなり、それでも自分の体でなんとかできる楽器はないかと探しまくった結果、たどり着いたのが10ホールズハーモニカでした。



© 大高英樹



© 朝比奈信弘

あなたにとって障がいとはなんですか？

自分という人間を作ってきた物のひとつ。障がいがないければ、今の自分はない。故に今の僕の出す音はなかった。

今後の展望をお聞かせください

早急に取り掛かりたいのはCD制作です。もう長い間、スタジオレコーディングができてないので…。そして、障がい者とか、健常者とか関係ない普通のメジャーなでっかいフェスとかにも出たいですね～。僕の音楽はボーダレスなもんやと思ってますから!!

その他感想など

コンテストに対してどれだけ魅せることができるかという事でもあると思ってきたので、他の出場者とは違う面を



© 川津貴信



© 川津貴信



© 川津貴信



© 大高英樹



© 川津貴信

見せられるように考えに考えて当日を迎えました。一番最初はハーモニカだけで、次にはジャンベなども入れて、今回は初めて歌を入れて、本当に10周年記念ゴールドコンサートは出し切った感じです。ファンの人に恩返しをしたいと思いますでしたが、10周年記念ゴールドコンサートでグランドチャンピオンを受賞して沢山喜んでもらったことが何よりうれしいです。

ゴールドコンサートに期待することとして、障がい者と健常者が一緒にできるコンサートも開いてほしいですね。

今後のセッションリクエストミュージシャン

横山剣、斉藤和義、スガシカオ、トータス松本、甲本ヒロト、クレイジーケンバンド、奥田民生、Superfly、鈴木雅之、和田アキ子、Char、押尾コータロー、スティービー・

ワンダー（またセッションしたい！再開希望（´▽`））、ラウル・ミドン、デイヴィッド・T・ウォーカー、ドクター・ジョン、ラリー・グラハム、デヴィッド・サンボーン、ジョー・サンプル、B.B. king、メイシオ・パーカー

< CD 販売情報 >

『やりたい放題 Music!』 ¥800

『新天地』 ¥1,000

主な購入方法：山下純一オフィシャルウェブサイト
(<http://www.geocities.jp/junharmo/>)



受賞者の声



第2位・観客賞

もり けい けい ちろう
森 圭一郎(ギター、ボーカル)

ゴールドコンサートに出場した感想をお聞かせください

第8回目に出演させて頂いた時の感動が体と心の中に残っておりました。今回国際フォーラムのステージに立った瞬間、その感動がよみがえりました。なんともいえない感動でした。そしてまたボランティアの方々がいつも真剣に動いていらっやって、とても助かり演奏に専念する事ができました。惜しくも2位という結果でしたが常日頃上には上がある事を忘れてはいけないという感覚を忘れたくないため今回の結果は自分にとってとてもいい結果になりました。また応援してくれている方々も沢山来てくれて改めて色々な方々に支えられているんだと実感いたしました。

音楽活動を始めたきっかけを教えてください

中学校の文化祭で歌い始め、それから少し音楽から遠ざかりやんちゃしてましたので(笑) それから16歳の時に事故に合い、もう車いすの生活と告げられ路頭に迷ってました。その後に定時制高校に通いギター部に入りました。車いすになってから初めて人前に出て歌った時にこれだ!!と思いました。ずっと自己表現方法を探していたので歌に出会った時ぴたりときました。もともとはギターをリハビリではじめたので何でも挑戦してみるものだと実感しました。

2012年に行ったアメリカ横断ツアーのきっかけやアメリカ人の反応をお聞かせください

自分の音楽の根底にはアメリカ音楽が大きく関わっていると思うので、一度アメリカの音楽と深く関わる町を



©川津貴信



©川津貴信

巡り横断してみたかったのがきっかけで行いました。最終的には世界の大陸全てを横断してみたいです。

東日本大震災で起こった親子の実話で「赤い紐」という歌があるんですが、それを英詞にし、アメリカで歌ってきました。聴いてくれたほとんどの人が涙を流し受け止めてくれました。アメリカの人たちは感情表現が豊で体全体で悲しみを表します。それにとても親切でアポなしで入ったお店で急に歌いだしたら支援金までいただきました。それには感動しましたね。

アメリカ横断ツアーで一番苦労したことや印象に残っていることはなんですか？

やっぱり一番苦労したのは英語の発音ですかね？ドライブスルーで珈琲を注文したはずがアップルパイが出て来てしまった(笑)

怖いホテルもありました。一晩中タイプライターを叩く音が聞こえていたりとかね、怖かったです。一番印象に残っているのはお店で「赤い紐」を歌った時、女性が抱き合っ泣いてくれた事。一生忘れません。

「Road Trip 2013-2014 ひまわり ～笑顔の花を咲かせたい～」とはどんなツアーですか？

鹿児島県徳之島には特別支援学校がありません。

障がいがある子ども達は学校に行くため家族離れ離れ



© 榎フォトライブ

になって遠い大阪や奄美まで行かないといけません。あるお話では、小さな子どもが大阪へ行く途中飛行機の中で手話で「お父さんのいる家に帰りたい」と泣いたそうです。もし島に特別支援学校があれば、障がいがある子ども達とご両親は生まれた島から離れる事もなく学校に通えます。ご両親の心配事は就労の事。島から離れたくないけど学校に通わせないと将来も不安。なにしろ子どもに付きっきりの母親の負担は私たちには想像もできない程です。島に学校をつくる事。まずここからはじめれば日本に沢山ある特別支援学校を必要としている島にもいい刺激になると思います。なんとかツアーを成功させたいです。

ちなみにツアーファイナルは6月6、7、8日に徳之島で行います。島を車いすで一周する予定です(笑)それまで署名も沢山頂いています。署名用紙はダウンロードできるようになっていますので賛同していただける方はぜひご協力をお願い致します。
(<http://www.town.isen.kagoshima.jp/notice.php?id=646>)

森さんが感じる徳之島の魅力を教えてください

色々な島があるけれど徳之島は人が魅力です。もちろん自然も素晴らしい。観光地化されていない海は真のコバルトブルーです。

島には島の問題が沢山あります。子宝空港と呼ばれる程徳之島は子沢山。出生率も1位です。それだけ島の子ども達は大切にされています。しかし時代の流れは強く大人になると島を出て本土に行ってしまう事も少なくありません。親達は涙をのんで子どもを未来へと送り出すのです。そんな悲しみも胸に秘め徳之島の人たちは明るく優しいです。

あなたにとって障がいとはなんですか？

諸刃の剣です。味方につければ強いけど敵と思えばこんなに怖い物はありません。味方につけるまでは10年かかりました。何で自分がこんな苦しい目に？歩いてきた時にできていたことができない時悔しくて涙が止まりませんでした。ただ音楽と出会い外の世界に目を向けて

いったら本当に大切なのは体が動いている事ではなく、心が本当に動いているか？という事がわかりました。それから歩けなくても心だけは走ってやろう！という方向に変わっていきました。人が生きてゆくうえで最も大切な事を障がい者が教えてくれたのです。

今後の展望をお聞かせください

ひとつは歌を表現方法とし、もうひとつは俳優としてテレビの中へ、沢山の武器を持ちそれを色々な物に役立てたいです。とりあえずは鹿児島県徳之島に特別支援学校を建てるために頑張ります。そしてこれからも車いすユーザーや障がいがある方やそのご家族など、皆さんが住み良い日本に変えていきたいです。駐車場やトイレの問題それから公共施設の問題なども。後は子ども達の目標でありたい。自分が16歳で事故をした時に目標としたい人がいませんでした。その時間が短ければもっと早く希望がもてたかもしれない。昔の自分と同じような境遇の人の希望になれば本望です。そうなれるように頑張ります。

その他感想など

ゴールドコンサートからは多くのものを学ばせていただきました。それをしっかりと活かせられるように励みます！

またストレッチマンV(NHK E テレ 朝9:20 再放送15:30)や鹿児島県徳之島に特別支援学校が設立できるように全力で頑張っていきたいと思いますのでこれからもよろしくをお願いします！！



© 川津貴信

< CD 販売情報 >

『Keiichiro Mori Live at The Bitter End』
¥3,000
主な購入方法：オンライン通販「amazon」など
(<http://www.amazon.co.jp/> で検索)



受賞者の声



第3位

さとう ひらり
佐藤 英里 (ピアノ、ボーカル)

ゴールドコンサートに出場した感想をお聞かせください

今回は、グランプリを取った人たちが出る大会だったから、みんなレベルが高くなって感じていたんですけど、3位になれてよかったです。表彰式で3位は佐藤英里さんですと言われた瞬間、なんで？私でいいの？という驚きと、これから頑張らなきゃという気持ちが芽生えました。

音楽活動を始めるときっかけを教えてください

保育園のキーボードを触っていたら、美空ひばりさんの歌が聴こえてきて、とても気になったので保育園の先生にこの曲は？って聞いたんです。それが「川の流れのように」だったんです。おばあちゃん、お母さん、保育園の先生、いろんな人が美空ひばりさんの曲を探してきてくれて、美空ひばりさんの歌を聴くようになり大好きになりました。その頃、本田美奈子さんも大好きになり、美空ひばりさんの曲や本田美奈子さんの曲をピアノを一本指で弾きはじめました。一本でピアノを弾いているのを見て、お母さんがピアノを習わせてくれたんです。

始めの頃は何を歌ってもひばりさんの歌い方になっちゃったんですね。昔の自分のCDを聴くと、美空ひばりさんの歌い方なんで、恥ずかしくて今はもう聞けないです(笑)

そんな歌い方だったので、保育園で1人こぶしをきかせて歌って目立っていました。今でも、学校で合唱の曲を歌うと、1人だけ目立っちゃうんです。CD



© 大高英樹

にした方がいいんじゃないの?!ってよく言われます。

美空ひばりさん、本田美奈子さん、そのあと井上陽水さんが好きになったんですけど、今は、初音ミクが好きです。結局、私は今どきの音楽が好きなのが分かったんです。初音ミクも歌いますが、今でも変わらず歌い続けているのは本田美奈子さんのアメイジング・グレイスですね。

歌を作るときはどんなことを考えていますか？

一曲目(みらい)と二曲目(なないろの夢)は、頑張っている人に向けた曲をつくりました。三曲目(かぞくのうた)は明るい感じで作りしました。みんなのうたで使われてほしいなって考えてつくったんですけど、そしたら審査員の先生が「みんなのうた」で使われたらいいねって言ってくれて嬉しかったです。

歌詞とメロディ、どちらを先につくりますか？

歌詞を先につくって、そのうちメロディも浮かんできます。今回の「かぞくのうた」は苦戦しました。家族みんなで歌える曲が作りたと思っていました。歌詞を考えているうちに、メロディが浮かんできて、最初に考えていた歌詞をどうするか決まらなくて。でも最終的には始めにイメージしていた通りの曲ができました。



© 朝比奈信弘



いつもどんなもので遊んでいますか？

携帯やスマートフォン、ICレコーダーです。ICレコーダーには全ての音を入れているんです。練習した曲や、喋ったこと、大好きな初音ミクの曲なんかも入っているので、これをなくしてしまうと、人生を消失したようなものです（笑）マイクロSDでバックアップは取っているんですけど、マイクロSD自体がICレコーダー入っているから、これごとくなくしちゃったら意味がないというか。なるべくもう一つのICレコーダーにも同じ物を入れるようにしているんですけど、入れ替えたりするのは大変だったりするんですね。

マシューくんとのコラボはいかがでしたか？

いつもは一人でアメイジング・グレイスを演奏しているので、マシューくんのすごくかっこいい伴奏が入ることによっていつもと違ったアメイジング・グレイスが演奏できてよかったです。一人で演奏するとき



間奏を入れたいんですけど、マシューくんとのコラボでは間奏をいれたので、新鮮な感じでした。

マシュー君はチャーミングな人。言葉が分からなくても面白いことがあると一緒に楽しんでくれるのでいいなと思いました。前日にマシュー君と会う事ができて、そこで交流ができたのがよかったです。

誰かとコラボしたいですか？

誰とでもコラボしてみたいです。

新潟でもロック系の方とコラボしたことがあって、その時はゴスペル風にアレンジしてくれてハモリをしました。ボーカロイドは一度はやりたいです。フォーラムとかで初音ミクとか！ゴールドコンサートで東儀秀樹さんが、なんでも対応できるからいつでも呼んでよって言うてくれて、普通逆じゃないですか！！すごく嬉しかったです。

あなたにとって障がいとはなんですか？

前に学校にブラスバンドが来たときに、みんな見ているだけだったけど、私は触らせてもらったりしたり、見えないとすごいもの触れたりするんです。良くも悪くもあるかな。

今後の展望をお聞かせください

もっと歌を作りたいです！どんどん曲を作るのが目標です。

今までは、ゴールドコンサートに出るから、それに向けて曲を作ろうという目標があったんですけど、作りたいときに作るとなると全然進まないから、コンスタントに曲を作っていこうと思ってます。



< CD 販売情報 >

『みらい』 ¥1,000

主な購入方法：佐藤英里オフィシャルサイト
<http://hirari.info/>



受賞者の声



審査員特別賞

ダージリン

Darjiling

メンバー: asaco (ボーカル、キーボード)、佐藤 友和 (ベース)
江渡 大悟 (アコースティックギター)、矢嶋 哲志 (パーカッション)

ゴールドコンサートに出場した感想をお聞かせください

本当によかったです。お話しをいただいた時には即答出来ませんでした。生まれて初めて2年間音楽をしていない状態でした。脳梗塞になり、日々の生活に追われ、音楽活動ができない状態だったのです。音楽が自分の中から消え、音楽そのものを聴くのも嫌になっていたことに、出場の話をしていただいてから気付きました。それまでの障がいとは段違いの中途障がいという、新たな自分の体に慣れていかなければならず、音楽をやる余裕がなくなっていたのです。

音楽は+αの事で、退院して何ヶ月かはピアノに向かったけどどうもいかず、そのうちピアノを見るのもストレスになりました。自分が音楽をやる人という意識がなくなっていました。そこにゴールドコンサートのお話をいただいて、「そうだ！私、音楽やる人だったんだ！」ということに気付いたのです。

今まで音楽に関して断ったことはありません。できない事があってもやる。演歌なんかやったことないのに演歌のお仕事をしたこともありました(笑)。私のことだから、本番まで時間があるからやると決めたら絶対にやってやる！という気持ちになるだろうと。自分の為にも、ここでやらなければ一生音楽やならないなって思い、また今こそゴールドコンサートに出るべき時ではないか？と思い出場を決めました。

出場を決めてから本番までのお話しを聞かせてください

大変なのはピアノだと思っていました。倒れた時も、ピアノ弾けるようになりますか？と何度もドクターに聞きました。まさかこんなにも歌が歌えなくなるなんて思ってもなかったのです。

私はスピーチセラピストの方についてもらっていました。日常会話は良くなりましたが、英語や歌となると全然違うのです。日常会話以上の努力をしないと歌えない。体力も激減し、声を出すのがこんなに大変なんて……。リハビリ中は「あの時もっとできたのに」と思っている自分がいて、あの時と思うからつらくなることにある時気付きました。歌も技術はないよりあった方がいいけど、今の私に歌えるように歌えばいいのではないかと気持



ちを切り替えるようになったら発声練習も真面目に取り組めるようになりました。

ゴールドコンサートには以前組んでいた人たちとバンド編成で出場することにしましたが、合わせた初日は散々でした。体幹を整え、ピアノを弾き、歌を歌って。脳梗塞は脳の病気だから集中して一度に複数のことを行うことが今まで以上に大変でした。それができた時、私の中で何かが変わりました。自分自身がガラッと変わり、自信にもなりました。あとやっぱりみんなと合せるのは楽しいと思いました。それが一番のリハビリになったと思います。

音楽活動を始めたきっかけを教えてください

特にきっかけはなくて、気付いたらそこに音楽があったという感じです。子供の頃、気付いたら歌っていました。生後3ヶ月で起きたら「おはよう」の代わりに歌っていた、という親バカエピソードもあります(笑)

あなたにとって障がいとはなんですか？

これは一番難しいですね。人それぞれだと思いますが、

生まれた時からの障がいと病気は一生治らないし自分でどうにもできない。でも、脳梗塞になって初めて自分で努力すればよくなる病気？障がい？を持ち……軽度も重度も内部も外部も生まれつきも中途も色んな障がいと病気を持っているから一言では言えないのかも。言葉にできないけど、何事にも理由があるのかと思います。この先何があるか分からないですけど。

ひとつ言えるのは、障がいや病気が増えると試練も増えて受け入れるのはとても困難だけど、その度に私の周りには素敵な一生もんのお友達が増えて、その度に私は沢山のことを学び、とてもハッピーになります。生きていくって大変だけど素晴らしい。

今後の展望をお聞かせください

ゴールドコンサートの後、以前私の歌を聴いた事がある方から「あなたのあの高音が聴きたかった」という感想がありました。高音を出すだけが歌い方じゃないし、これを機に色んな声の出し方を見つけていくのもありかなと考え、高音はしばらく封印する方向でいましたが、以前のような歌声を聴きたいという方がいらっしゃるのなら、自分が「こうやりたい」という思いのまま進むだけでなく、今までの歌い方も考慮して今後どんな音楽にしていきたいか、どんなミュージシャンとして進んでいくか考えているところです。きっと進んでいくうちに自然と新しい asaco が出来上がっていくことと思います。



© 大高英樹



© 大高英樹

アメリカの友達に私の曲の英訳を頼まれ、日本語、英語それぞれの言葉の特徴に改めて気付きました。今年から自分の歌詞の英訳や英詩の曲作りにも挑戦しています。また、歌詞のない声を楽器として使うような曲も作ろうかと考えています。

その時々で色々



© 横フォトライフ

変化するけど、「私がいればDarjiling」というスタイルは変わりません。暫くソロ活動が続いていたので、また初心に戻っ



© 横フォトライフ

て色んな人たちと音楽を奏でていくことが増えそうかなあ？そんな気がするし、そうなったら素敵だなあ。

音楽から少し離れますが、アートもやりたいです。指に塗料をつけて絵を描いたり、その絵に言葉をつけたり。完成した作品からインスピレーションを受けて音楽を作ったり、逆に音楽からインスピレーションを受けてアート作品を作ったりしたいです。

ひと言お願いします

私にとって音楽は「私を私でいさせてくれるもの」「私のココロを穏やかに整えてくれる必須のもの」、さらに私の「人としての質を高めてくれるもの」かな？さらに私の創り出す音楽が、それを聴いてくれる人たちのココロをも穏やかに整えられたらいいな、と。そして皆も私もハッピーになれたらいいな、と。

おそらく私はそんな思いで今まで音楽をやってきたのだと思います。そしてこれからも。誰かの為なんてかっこつけてたけど、自分の為であり、そして誰かの為にもなれば最高、という思いを込めてこれからも音楽を作り続けていこうと思います。

< CD 販売情報 >

『ココロ』 ¥1,500

主な購入方法：Darjiling オフィシャルサイト
(<http://www.darjiling.net/>)



出場者の声

ザ ジェイビーフ
The J.B.'f

メンバー：片岡 亮太（和太鼓）、友野 龍士（和太鼓）
瀬戸 洋平（篠笛）、新之助（和太鼓）



© 川津貴信

ゴールドコンサートに出場した感想をお聞かせください

（友野） みなさんの演奏のうまさにびっくりで、あんなに広い会場で演奏できたこともうれしく思います。グランプリを頂いたころを懐かしく思いました。ますますの演奏者の活躍も期待しますし、僕たちも次なるステップに進んでいきたいと思えます。

（片岡） 他の出場者の方々、そしてその音楽と再会できたことが何よりうれしかったです。また、久々のThe J.B.'fの活動のきっかけをいただけたことがありがたかったです。

（瀬戸） どの方もどのバンドも1曲しか聞けないのが残念。そう思えるほど素敵な人たち、魅力的な音楽が集まっていたと思います。

（新之助） 楽曲、演奏とも水準がとても高く、ぜひ続けていただきたいと思えました。ジャンルもより多彩になるといいと思います。

音楽活動を始めたきっかけを教えてください

（友野） 3歳の時、大好きなお祭りで出会ったころは、和太鼓の事は全然知らなくおもちゃみたいに使ってました。それから小学校のクラブ活動がきっかけで、いろんな演奏活動をし、今でもプロとして日々の演奏に魂を込めて、叩き続けています。

（片岡） 子供のころから演奏していた和太鼓と、さまざまなジャンルを組み合わせさせた音楽で、自分なりの表現をしていきたいと大学時代に思い、プロになりました。

（瀬戸） 小学校の音楽で和太鼓と篠笛に出会い、以来傍らには篠笛1本。

（新之助） 小学生のとき、放課後保育の活動の一環として和太鼓を始め、そのまま続けています。

あなたにとって障がいとはなんですか？

（友野） ハンディや健常者関係なく、同じ人間としてお互いみんなで支えあい日々の生活に頑張っていくことだ

と私は勝手に思っています。

（片岡） 「My blindness is a color of my life.」。そう思わせてくれるすべてに感謝しています。

（瀬戸） どれだけ付き合っても謎が深まるばかり。ちょっとした流星とでもいいでしょうか。私の周りを不思議な周期で近づいたり離れたりしているみたいです。

（新之助） いわゆる健常者の僕にとっては、障がい者のみなさんの努力と苦勞、周りの方のサポートがあることによって、自分の活動・見識・経験を充実させる機会を得られるものです。

今後の展望をお聞かせください

（友野） 今後は僕の大好きな和太鼓を通じていろんなアーティストとのコラボや和太鼓ユニットやソロでも頑張っていて、演奏活動にガッツを出して行きたいと思えます。

（片岡） ジャンルにとらわれず、自分だからこそその音楽を見つめ、掘り下げながら邁進し、日本、アメリカだけでなく、ヨーロッパやアジアの諸外国でも活動してみたいです。

（瀬戸） 今は篠笛が吹きたいです。私の思いの向くまま、この笛の音が広がっていくまに……。その先を信じて……。

（新之助） 継続することを重視し、マイペースにやっていきたいと思えます。



© 榎フォトライブ

© 川津貴信

© 川津貴信

© 川津貴信

< CD 販売情報 >

『Ajarria』 ¥2,000

（片岡亮太が在米時にジャズフレンチホルン奏者の山村優子と結成したユニット「Ajarria」）

主な購入方法：ライブ会場、片岡亮太への直接注文、およびネットによる通販：<http://www.brasstribes.jp/cddvdrc1.html>

『たからかぜ』 ¥2,200

（瀬戸洋平、友野龍士が参加しているグループ「アラゲホンジ」）

主な購入方法：公式 HP やタワーレコード

<http://aragehonzi.com/1311@takarakaze.html?keyword=>



出場者の声

あなざわ
穴澤

ゆうすけ
雄介

メンバー：穴澤 雄介（ヴァイオリン）、高木 将雄（ドラム）
望月 雄史（ベース）、野田 正純（ピアノ）



© 大高英樹

ゴールドコンサートに出場した感想をお聞かせください

今回は贅沢に、バンド編成（カルテット）で出演いたしました。今年9月29日にリリースした全曲自作曲の新作CD、「Another world」のレコーディングメンバーでもあったのですが、私は以前から、このメンバーでレコーディングやライブ活動ができたならと企んでおりました。今回入賞できなかったことは、非常に残念でしたが、このステージがきっかけで、3月に同じメンバーでツアー（大阪、名古屋、千葉は既に決定済み）をすることへと繋がりました。ですから、おかげさまでとても意味のある出演となりました。どうもありがとうございました。

音楽活動を始めたきっかけを教えてください

障害、環境、素質…、様々な視点で自分自身を見つめてみた時、最も人に喜んでもらえる可能性のあるもの、最も社会に貢献できる可能性のあるもの、最も職業にで



© 川津貴信

きる可能性のあるもの、それは音楽しかないだろうという結論に達したからです。

あなたにとって障がいとはなんですか？

原動力。

今後の展望をお聞かせください

来年は、ここ数年で増えてきた講演活動の内容をまとめた本を、ぜひ出版できたらと考えております。合わせて、講演の機会も、さらに増やしたいです。また、バンドでの演奏機会を増やしていく一方、ヴァイオリンという楽器でありながら、完全ソロでのパフォーマンスもできるというのは、自分の強みの一つだと思うので、そちらも充実させる方向で動いています。再来年は、今までのオリジナル曲の代表的なレパートリーをバンドでレコーディングし直したCDを、その次に完全ソロでのレパートリーを集めたCDをリリースしたいと企んでおります。



© 川津貴信



© 川津貴信



© 川津貴信

< CD 販売情報 >

『Another World』 『Crystalline Soul』

各¥2,500

主な購入方法：オンライン通販「amazon」など
(<http://www.amazon.co.jp/> で検索)



出場者の声

まえかわ ゆみ
前川 裕美 (ピアノ、ボーカル)

ゴールドコンサートに出場した感想をお聞かせください

私としては「結婚しても出産しても今まで通り音楽活動を続けていきます」ということをアピールできたら、との思いもあって出場しましたが、「コンテスト」という意識が足りていなかったなと少し反省しました。でも、素晴らしいホールで気持ちよく歌うことができるとても幸せでした。また、控室で他の出場者の方々と交流できたのも楽しかったです。



© 川津貴信

音楽活動を始めたきっかけを教えてください

お仕事としては、アメリカ留学から帰国して数カ月後に、卒業した小学校からお声がかかり講演とコンサートをさせていただいたことが今の活動の出発点です。

あなたにとって障がいとはなんですか？

ないほうがよかったな～と思います。いまだに「もしあのまま見えていたら」とか「一日でも長く見えていなかった」という気持ちは強いですし、自分の障がいを受け入れきれていないと思います。でも、だんだん見えなくなっていったときも、まったく見えなくなった今も、希望を失わず工夫と努力を重ねて生きています。



© 川津貴信

今後の展望をお聞かせください

まずは今の講演・コンサート活動を長く続けていきたいです。そして、日米での様々な経験とこれからの子育てを通して、私の人権や福祉に対する思いをたくさんの方々を知っていただき、海外まで活動の範囲を広げられたらうれしいです。



© 大高英樹



© 朝比奈信弘

< CD 販売情報 >

『ねがい』 ¥1,500

主な購入方法：前川裕美オフィシャルウェブサイト
(<http://www.eonet.ne.jp/~gracernote/>)
itunes ストア (<https://itunes.apple.com/jp/album/id447299783>)



出場者の声

おいしい あやこ
大石 亜矢子 (ピアノ、ボーカル)

ゴールドコンサートに出場した感想をお聞かせください

4回目のあの舞台でしたがやっぱり緊張しました。でも気持ち良かったです。楽屋も楽しかったです。スタッフさんたちの対応もソフトで良かったです。

音楽活動を始めたきっかけを教えてください

音大を卒業してピアニストと一緒に演奏をしていましたが、自分に違和感がありました。型にはまらず、弾き語りもオリジナルもどんどんやっていんだと思ってからと、アイメイト(盲導犬)と一緒にってから活動の幅が広がりました。

あなたにとって障がいとはなんですか？

「不幸」ではなく、「不便」なだけ。神様からのギフトだと思います。



© 川津貴信

今後の展望をお聞かせください

オーケストラと競演したい。紅白歌合戦に出たい。2枚目のCDを作りたい。楽譜も出版したいです。



© 朝比奈信弘



© (株) フォトライフ



© 大高英樹

< CD 販売情報 >

『My Life』 ¥2,000

主な購入方法：オンライン通販「amazon」など
(<http://www.amazon.co.jp/> で検索)



出場者の声

いしの てる 石野 輝 (ボーカル)

第1回大会でのグランプリ受賞後は、作詞、作曲をしながら、不定期でライブ活動、イベント出演を行っているそうです。ゴールドコンサートがきっかけでご結婚をされ、当日は、奥様、息子さんも応援に駆けつけました。

<審査員の講評>

とっても気持ちのいい歌を聞かせてもらいました。今この「大切な人」というタイトルを見て、私にとって大切な人は誰なのか、会場の方も誰が大切な人なのか考えました。石野さんはロマンチストなので、素敵なパートナーを思って作ったのだと思いますが、優しさ、大切という言葉は、今、我々日本人が一番失った言葉ではないでしょうか。誰かに思いやりを、それから優しさ、幸せがみんなにくるといふ……。この歌をぜひ東北の福島で、大きな声でみんなの前でぜひ歌ってみたいと思います。石野さん、これからも大きな声でこの幸せと優しさを皆さんに伝えてください。

<演奏後のインタビュー>

精一杯歌わせていただきました。皆さんの大切な人に歌いました。



© 大高英樹



© 絳フォトライフ



© 川津貴信



© 朝比奈信弘



出場者の声

ザ サウンド The Sound

メンバー：ハンヘジュン / 한혜정 (ボーカル)
キムソンイル / 김성일 (ピアノ)

昨年、韓国で行われた障がい者の音楽コンテスト「第1回 The Sound Festival」で優勝した The Sound のお二人がゴールドコンサートに出場しました。

The Sound Festival は2013年8月18日に初めて開催された、韓国の障がい者の音楽コンテストです。別々に活動していた2人が The Sound Festival の為にデュオを結成して見事優勝、ゴールドコンサートへ出場することになりました。

The Sound Festival の担当者から、次回のゴールドコンサートにも第2回大会の優勝者を参加させてほしいというオファーもいただきました。ゆくゆくは、日本からも The Sound Festival にミュージシャンが参加できるようなシステムを構築し、音楽で国際交流をしていきたいという話もできました。

<審査員の講評>

声と曲が非常にマッチしていました。表現の仕方がすごくレベルが高かったと思います。今回はアバのヒット曲のカバーでしたが、オリジナル曲、何か今まで世に出てない曲や、韓国語の歌も聞いてみたいです。

<演奏後のインタビュー>

最初はとても緊張して早く自分の演奏が終わればいいなど思っていたのですが、実際に演奏してみると、楽しく気持ちよかったです。



© 大高英樹



© 川津貴信



© 大高英樹



© 朝比奈信弘



オマー・パーヴェイズ (ボーカル)

ゴールドコンサートに出場した感想をお聞かせください

10周年記念ゴールドコンサートに参加できて、とても嬉しかったです。日本人の皆様の前でパフォーマンスできたことは、とても幸運でしたし、光栄だと感じています。

ゴールドコンサートは、大変素晴らしい活動です。もし、もう一度チャンスをいただけるのであれば、次回はバンドメンバーとともに日本語、英語、そしてウルドゥー語で歌いたと思います。



音楽活動を始めたきっかけを教えてください

音楽活動は、2003年の終わりに始めました。バンドに属して歌を学びました。なぜなら、私は音楽がとても好きで、その中でも特に歌が好きだったからです。

あなたにとって障がいとはなんですか？

私は、二分脊髄症という障がいをもっています。

今後の展望をお聞かせください

アルバムを作りたいと思っています。また、資金とスポンサーを望んでいます。



オマー・パーヴェイズさんは、ダスキン愛の輪基金が行う事業のひとつ、「ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業」の第15期生として来日しています。この事業は、アジア太平洋地域の障害ある若者を日本に招へいし、約10ヶ月間、日本の障害者福祉や日本文化を体験し、帰国後は母国のリーダーとして活躍していただくという人材育成事業です。

オマー・パーヴェイズさんは、主に「障害者関連法」「法律の施行」「障害者団体と政府の関係」「パキスタンの法律との比較」「日本の障害者運動」について勉強しています。



審査員長よりメッセージ



音楽評論家・作詞家

ゆかわ
湯川 れい子

いつの間にかゴールドコンサートも回を重ねて、遂に10周年を迎えることが出来ました。多くの皆さまの熱いご支援とご協力があったの事と、深く感謝申し上げます。

当日は10周年を記念しての特別企画として、過去のゴールドコンサートで優勝した方達にお集まり頂き、改めてその中で王座を競って貰うという、とても贅沢なコンサートになりました。

このゴールドコンサートは、すでにご承知のように、さまざまな身体的なハンディキャップを持ちながらも、音楽の道でプロを目指そうとする人たちの登竜門として位置づけられています。ということは、やがて一般の音楽ファンがその人のCDを買ったり、コンサートに足を運んで下さるだけの魅力と実力が無ければいけない訳で、単なる腕自慢、のど自慢のコンテストとは当然のことながら微妙に視点が違って来ます。

そして今回の10回目のコンサートは、すでにプロとしてステージに立っている方達もあり、甲乙つけがたい魅力と実力のせめぎ合いでしたから、審査をするのは本当に大変でした。

結果、グランドチャンピオンには、第6回でグランプリをお取りになった、その時は“珍獣王国”というグループで出演。不自由な手でパーカッションを叩き、ハーモニカとボーカルを担当する全盲で車椅子に座った山下純一さんが選ばれたのですが、「やりたい放題 Music!」という演奏の元気だったこと！とにかく楽しいエネルギーが一杯で、会場中の人々が元気とやる気と幸せを頂きました。

また、第2位に入った、やはり車椅子のミュージシャンでシンガー・ソングライターの森圭一郎さんは、オートバイの事故で突然体の自由を奪われたという青年。第8回目の時のグランプリ受賞者でした。絶望の底から音楽の力で這い上って、ギターで弾き語りアメリ

リカ横断コンサートをやったのけたという凄いエネルギーの持主です。作品の力とボーカル力とで堂々の第2位にプラスして、場内の観客投票で1位を獲得。観客賞にも輝きました。

そして第3位は、まだ彼女が9歳だった第7回ゴールドコンサートで、「アメイジング・グレイス」をピアノの弾き語りで歌って、アメリカから来ていたゲスト審査員のJAZZとゴスペルの歌手、オーラ・リードを泣かせてしまったという女の子。その後、第8回では観客賞を、第9回では自作の曲を歌ってグランプリに輝いたという全盲の2001年生まれの子です。今回も自作曲「かぞくのうた」で挑戦。強豪揃いの中で見事第3位に選ばれました。

しかも嬉しいことに、この佐藤英里さんは、去年の夏、ニューヨークのハーレムにある有名な劇場アポロ・シアターで行われたアマチュア・コンテストに出場。なんとティーンで優勝してしまったのですから驚きです。たまたま私の友人で、ハーレムに住んでいる音楽プロデューサーのヴァイ・ヒギンセンという人がこのコンテストを見ていて、日本から来た全盲の少女がスタンディング・オベーションの感動を巻き起こしたという話をしてくれて、それが英里ちゃんだったと知った時は、私も本当にびっくりして喜んだものでした。

すでにプロとして数々の実績を出しておいで第7回グランプリ受賞者のヴァイオリニスト、穴澤雄介さんのような方もおいでですが、この佐藤英里さんや第2位の森圭一郎さんなど、ぜひとも音楽の道で成功されることを祈っています。

決してそれは容易なことではなく、さまざまに強力なサポートや運の力をも必要とすることですけれど、このゴールドコンサートが目ざしているものは、更にその次の段階として、障がい自身がプロのコンサート活動を提供していくという世界でもあるのです。

どうぞ今後共、この活動自体に、暖かい目を向けてご支援頂けますように、心からお願いを申し上げます。



司会者よりメッセージ



© 株フォトライフ

フリーアナウンサー

むらまつ か お り
村松 加王里

今回は第1回から9回までのグランプリを獲得された皆さんが出場をされたということもあり、レベルが高く大変見応えのあるコンサートでした。10年目に相応しいコンサートだったと思います。

そして記念すべき10周年の司会を担当させて頂きましたこと大変光栄に思っております。ありがとうございました。私は第7回目から司会を担当させて頂きまして、今回で4回目となりました。これまで様々なドラマがありました。今回も実りの多い時間となりGCを通して多くの感動や沢山の出会いを頂き良い経験をさせて頂いておりますこと感謝しております。

さて、今回の進行上での感想ですが、とてもスムーズに進められました。司会付きを付けてくださったので、とても安心して進めることができました。また今回は、新しい試みであるインタビュー場所を移して映像での紹介となったため、どのような感じになるのかと一抹の不安もありましたが、会場からの感想も良い反応を頂いており、やはり新しいことにチャレンジをしていくことも大切なだと実感する機会となりました。そして毎回気になっていた表彰式が大変スムーズだったことに驚きでいっぱいになりました。後から聞かされましたが、リハーサルをキチンとされていたということでした。やはり準備が大切ですね。スタッフ、そしてボランティアの皆さん大変お疲れさまでした。今年は11回目になります。益々盛り上がっていくことそしてGCがもっともっと認知されていくことをお祈りしております！



© 株フォトライフ

史上初の身体障害者のお笑い芸人

あおやま
ホーキング青山

ゴールドコンサート10周年誠におめでとうございます。

一昨年の第8回大会より司会をさせて頂きまし

て、毎回出場者の皆様方のレベルの高さに圧倒されておりますが、今回の第10回の記念大会はグランドチャンピオン大会なだけにこれまで以上によりハイレベルな素晴らしいもので、当日は司会という立場を忘れて感動した次第です。

音楽に限らず障害者の文化芸術活動は、必ずといっていいほど「障害を乗り越えて」や「障害を吹き飛ばすような」等とその良し悪しは別に形容されることがありま

すが、このゴールドコンサートは「障害ばかりか年齢も性別も国籍も、そういう普段目に付く差異をすべて吹き飛ばしてしまう」そんなイベントではないかと思えます。主催されている貝谷様をはじめ第1回からこのイベントを着実に育ててこられた皆様方のご努力が並々ならぬものであることは、ジャンルこそ異なれど同じくお笑いのライブを企画し主催する者として十分拝察できますし、なによりこのゴールドコンサートのご発展ぶりは驚嘆に値するものです。

第10回でグランドチャンピオン大会を開催しこれまでの成果を内外に十分に示し、いよいよここからはさらなる展開として出場者の中からメジャーな音楽として登場される方がさまざま出てくるかと思えます。そんな日が一日も早く来ることを、このイベントに携わらせていただいた者の一人として心より楽しみにしております。



舞台進行よりメッセージ



有限会社アイプロモーション（イベント業）
ゴールドコンサート ステージ小委員会 委員長

わたなべ たけはる
渡邊 武晴

相川七瀬、懐かしいな～、障害者のコンサートって何だろう……ピアノをやった娘にも見せたら何かを感じるのかも。そんな気持ちで3階席の一番前から見させて頂いたのが第7回大会でした。当時10才の娘は同じ年の佐藤英里ちゃんの圧倒的な演奏と歌声に完全なる敗北を味わい逆効果になってしまいました(笑)……娘とは逆に僕は、ゴールドコンサート及び関わる仲間達にのめり込むこととなります。第8回、第9回とボランティア(実行委員)で参加させて頂き、『あの場面は違うだろ』『ここはこうするべきだろう』など好き勝手に辛口トークを言っていたのですが、10周年大会は、演出お願いします。と言われた時には「あちゃ～どうしよう、断ろうかな～」と引き受けるか迷いました。普段の仕事はイベント屋ですが、コンサートや舞台とは少し違い、式典やパーティーイベントが中心の為、考え方そのものが少し違います。ただ、良い物を作りたい！このイベントはもっと良くなるし、していくべきだ！そんな気持ちが大きかったので、引き受けさせて頂く事にしました。

自分の色も出しつつゴールドコンサートの素晴らしい！出場者を輝かせるような舞台！そんな舞台にするためにはどうしたらいいのか。過去2回ボランティアをし、観客としても見ていたので、自分の中ではある程度考えは出来ていました。その考えを形にする為、まずは演出構成案なるものを作成し、ベースを作りました。貝谷さん含め関わる方にイメージを持ってもらう。そこからのスタートです。あとは色々なエッセンスを追加したり削ったりして、そして7月頃でしょうか、台本(初稿)を作成。そこからが大変でした。オープニング映像、テーマソング、時間短縮などなど、課

題は山ほどあり、また本業も忙しかった為、直前はバタバタでしたね。

本来、イベントはテーマが大事だと思っております。観客に何を伝えたいか！「音楽は、バリアフリーだ。」この言葉は個人的に大好きですし、素晴らしいと思います。

今回は10周年そのものがテーマ的にありましたが、それ以外に、個人的な渡邊のエッセンスとして、「一体感」というテーマを自分の中で勝手に掲げておりました。舞台上は、変な「間」を無くす事、どうしたら最初から最後までスムーズな構成で一体感を出せるか……舞台転換中に別場所でインタビュー。これは紅白歌合戦にヒントをもらいました。その映像を映す為にも出来るだけスクリーンは大きくと要望も出しました。また二人の司会の特徴を最大限引き出せるのでは……とも思いました。舞台上の一体感を出すのと同時に、毎回200名以上のボランティアが関わり運営されている事をフューチャーしたい！エンディングで少しでも当日編集の写真素材の映像を流しましたが、これはあまり出来なかったですね。

GCには情報保障というのがあり、スクリーンには、生LIVE映像の他に、通訳さんや文字通訳さんの文字があります。間を無くす事でスピーディーに進行する為の弊害として、通訳さんや文字通訳さんには負担を掛けてしまったと思います。時間的にリハーサルが全て出来ない中、最大限の努力で頑張ってくれたスタッフの皆さまにも感謝したいと思います。

最後に、障害がありながらもあれだけの観客を感動させてしまう出演者の方々、華やかな舞台とは別に陰で色々支えているボランティアの方々、実行委員の方々、事務局の方々、そして貝谷さん、このような素晴らしいイベントのそれも10周年という記念大会に携わらせて頂き本当にありがとうございました。



実行委員よりメッセージ



株式会社 CMS コミュニケーションズ 代表取締役社長
ゴールドコンサート バックステージ小委員会 委員長

てらだ まなぶ
寺田 学

10周年記念コンサートの企画が始まった頃、過去のグランプリメンバーがどれだけ集まりコンサートに

参加頂けるかという点が心配でした。その不安に反して、全てのコンサートからグランプリの方が集ってくれたことが一番の喜びでした。これはゴールドコンサートの認知度が上がり、その卒業生である皆さんが10周年記念コンサートに賛同し、またステージ立ちたいという気持ちがあったからだと思っています。コンサートを企画している貝谷代表を始め事務局員や組織委員・実行委員の今までの活動・方針が間違っていなかったという現れだと思います。スタッフ関係者が、同じ気持ち又は今まで以上の気持ちを持ってこのコンサートに関わり、運営し

積み重ねていることの証が出来たと思います。

スタッフや関わる人は変わりますが、この気持ちを絶やさず、10年後の20周年に向けてさらなる進歩を期待しています。

今の運営は、良き仲間恵まれ、スタッフ間での良いコミュニティができていると思います。今年始まった小委員会制度も徐々にではありますが機能してきていると感じています。

私自身、10周年まで継続してお手伝いすることを約束していました。新たな気持ちとして出来る範囲で継続して関わっていこうという思いが有ることを宣言し、第11回へのスタッフ継続をお約束し、私の10周年ゴールドコンサートへの思いを締めたいと思います。引き続きよろしくお願い致します。



株式会社 NTT データ
ゴールドコンサート IT小委員会 委員長

やまもと しんや
山本 真也

ゴールドコンサート10周年おめでとうございます。

私とゴールドコンサートの出会い

は、2005年の第2回ゴールドコンサートです。第2回の会場は、現在の会場である東京国際フォーラムのホールCよりもひと回り小さい第一生命ホールでした。最初にゴールドコンサートを観たとき、私はとても感動して、出場者と自分自身が障がい者であることをまったく忘れていました。音楽はバリアフリーだと実感した瞬間です。

友人でもある貝谷代表へ私も何かお手伝いしたいとお願いして実行委員会に入りました。第3回以降の私は、審査員係、インターネット生放送係、ホームページ制作などに携わり、舞台裏でゴールドコンサートの成長と成功を見届け続けています。

10周年記念を終えたゴールドコンサートは、第11回に向けて動き出しています。ITという手段を使って一人でも多くの方々へゴールドコンサートの感動を伝えられるようにすることが、私のミッションです。これからも、貝谷代表のもと沢山の仲間と力を合わせて、ゴールドコンサートの感動を伝えながら、障がい者の活躍の場を広げていきたいと思っています。

実行委員よりメッセージ



株式会社マグナ 代表取締役
ゴールドコンサート 協賛・広報小委員会 委員長

すずき まみこ
鈴木 麻美子

私が GC にボランティア参加したきっかけは今から3年前。高校の同級生である福島浩太くんに代表の貝

谷さんを紹介され、その後 GC のイベントに参加したり、食事をしたりするうちに、自然と GC そのもののお手伝いをするようになりました。これまで障がい者のお友達もおらず、彼らを取り巻く状況について考えたこともありませんでした。純粋に友人として仲間として、夢あるプロジェクトに共に関わって苦労や感動を分かち合いたいというごくごく単純な動機から少しずつお手伝いの幅が広がってきました。

弊社は小さな会社ですが、日々仕事と向き合っていると自分の才能や経験のなさに、「できっこない」とあきらめてしまうことがしばしばあります。「もっと予算があれ

ばいいのに。」「もっと能力があればいいのに。」と。GC のステージに上がるミュージシャンは皆、同じように「なにか」ができない人ばかり。きっと「もっと目が見えたらいいのに。」「もっと手先が使えるといいのに。」と願ったことのない人はいないのではないのでしょうか。しかし、できないことを嘆くのではなく、できることにフォーカスして磨きをかける彼らの姿は、「できっこない」に囚われた私たちにたくさんの勇気を与えてくれると気づきました。

10周年を迎えた昨年、貝谷代表らと GC の原点であるデンマーク視察旅行に参加させていただきました。私の感じたおぼろげな勇気の可能性は、ダイバーシティ、すなわち多様性を個性と尊重し認め合う社会に必要な考え方だと学ぶ貴重な機会となりました。

10周年を終え、20周年を目指す GC に大いなる輝きあれと願います。



日本オラクル株式会社
ゴールドコンサート
ボランティア・当日受付小委員会 委員長

ふくしま こうた
福島 浩太

10周年記念ゴールドコンサートの開催、おめでとうございます。

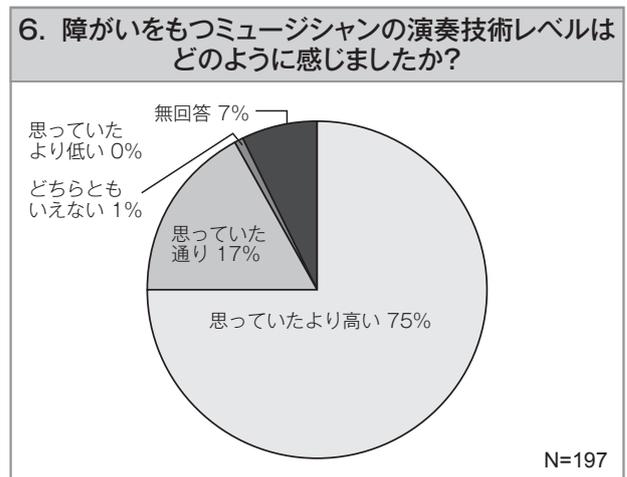
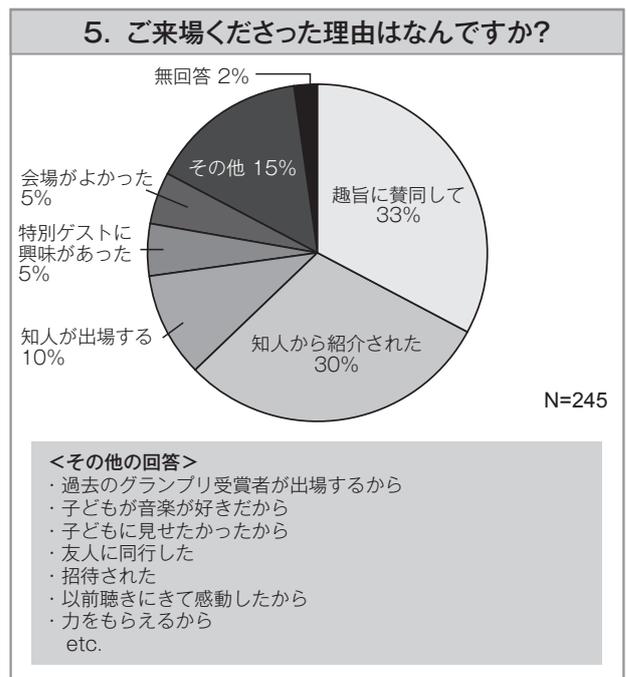
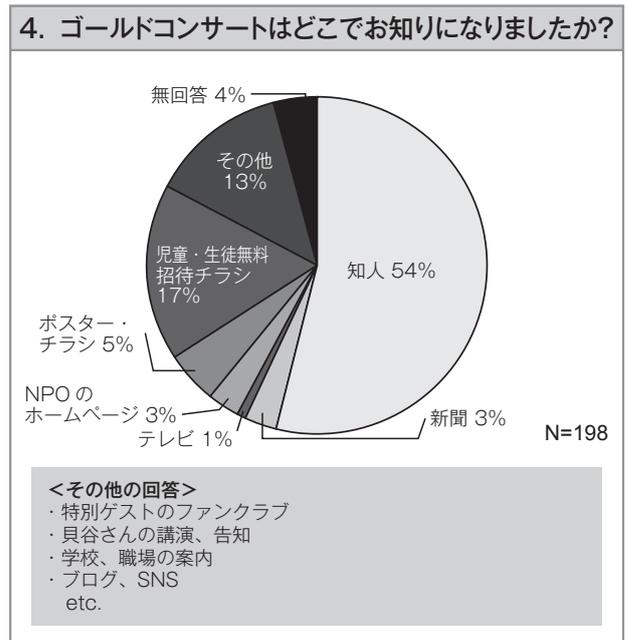
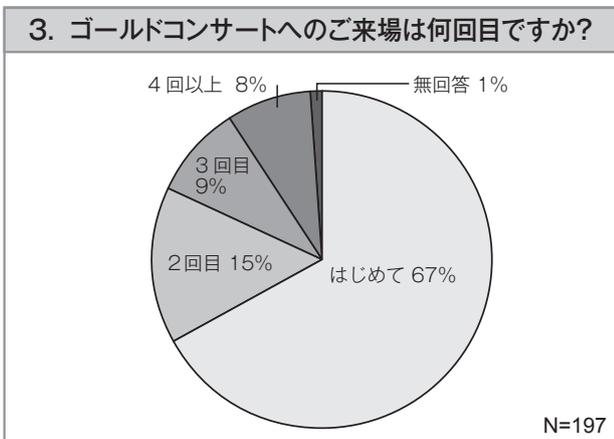
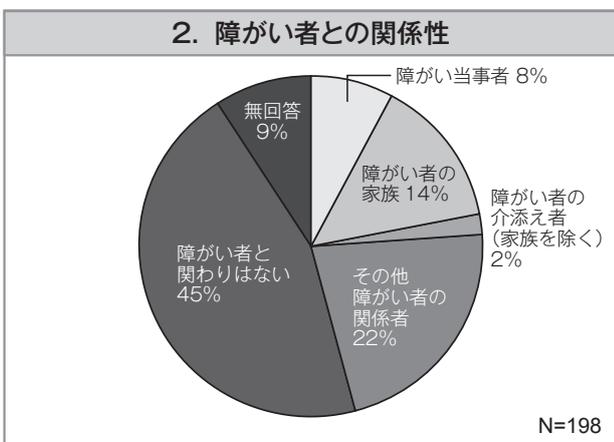
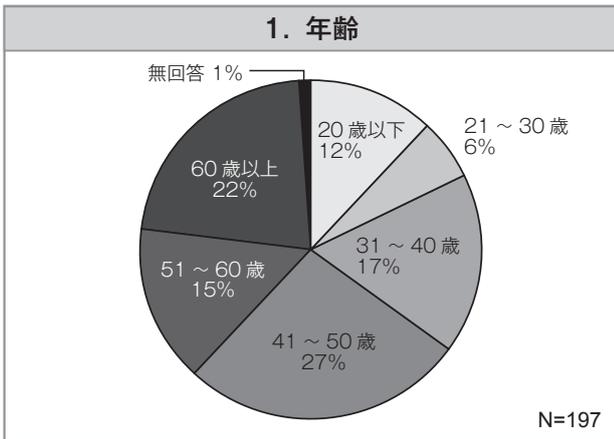
客席で観覧させ

て頂き、こんなにも素晴らしく感動的なイベントの企画に携われたことを誇りに思いました。今回は特に、舞台進行がスムーズで、インタビュー形式の中継の演出が良く、過去のグランプリ受賞者が集結しただけあって出場者のレベルも非常に高く、同行した家族や友人達にも大変喜ばれました。

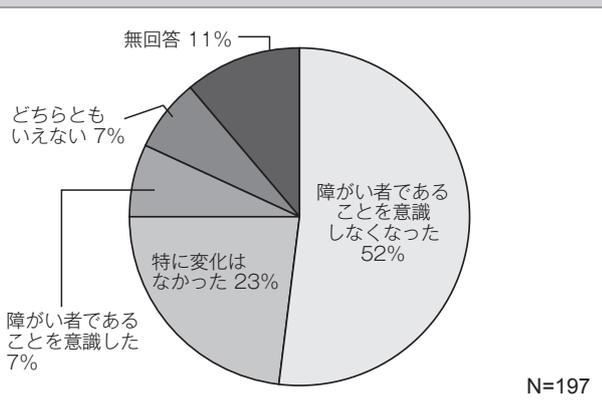
今後、20周年へ向けてますます発展し、出場者の中から一人でも多くプロとして活躍されることを願っています。



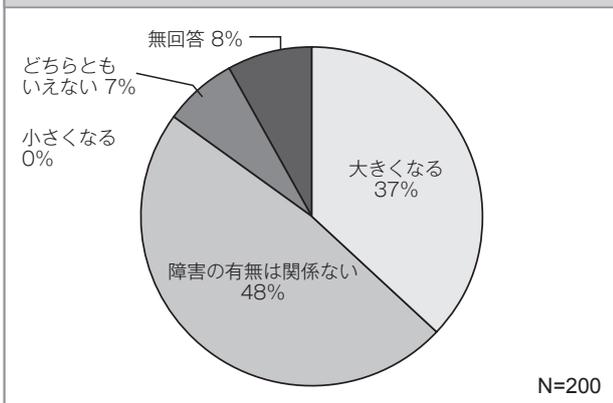
観客アンケート結果



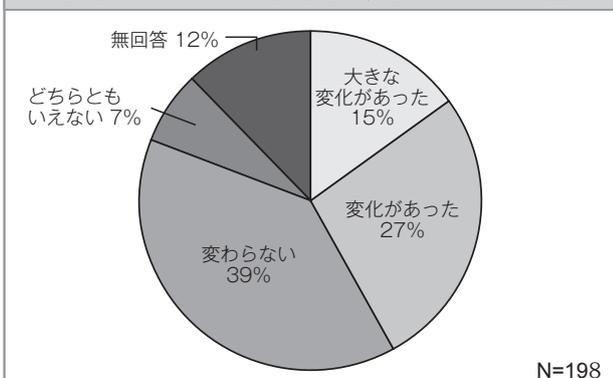
7. 障がいをもつミュージシャンの演奏を聴いて、障がいがあることへの意識に変化はありましたか？



8. 演奏者に障がいがあることでより感動が大きくなると感じますか？



9. 障がいについての考え方に変化はありましたか？



<大きな変化があった、変化があった>

- ・元気が出ました。勇気をもらいました。
- ・目標に向かって励まれる姿が印象的でした。
- ・皆さんの能力の高さに驚きました。障がいのある人となん人との「違い」は何なのかを考える事が大事だと思いました。
- ・障がいを乗り越えて、それに止められずに自己表現している姿に、人の可能性を強く感じ、人生の豊かさ、自由さを誰もが手にできると知りました。
- ・ハンディキャップというより、「合理的配慮」さえあれば、才能一本で食べていける！と障がい児の家族としては勇気付けられました。
- ・不自由だからムリではなく、他の五感を生かし、努力すれば1つの形が出来るのだと考えさせられました。
- ・不便がある分感じる事が多いだろうと思いました。それを素直に表現できるのは素敵なことだと思いました。etc.

<無回答>

- ・障がいとは何なのでしょう？
- ・いつも新しい感動を受けるので変化を意識していますが、それが何なのかは自分でもわかりません。etc.

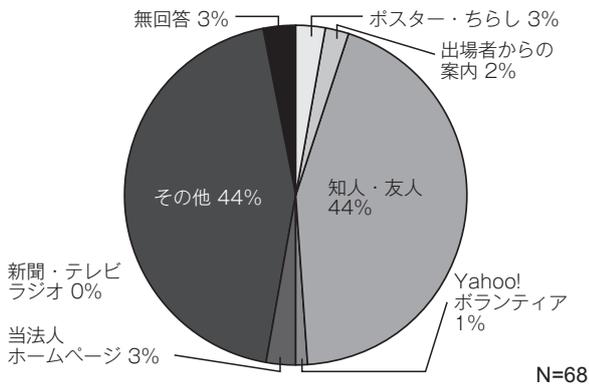
●自由記述

- ・とてもレベルが高く、とても感動しました。皆さんの活躍の場がもっと広がっていくことを願っています。元気をもらえました。もっと自分も色々な事に挑戦しようと思います。
- ・今回はグランドチャンピオンシップであったので、出演者のレベルが高かった。本コンサートの益々の発展を祈念します。
- ・健常者に比べただけ努力された心が締め付けられる思いで聴かせていただきました。ほんとうにありがとうございました。夢に向かって頑張ってください。
- ・今回、子供の情操教育という観点からコンサートに来たいと思いましたが、そんな事を普段から考えないでいい、みんなどんな人も普通に暮らす世の中になればいいと願っています。
- ・音楽において障害とは何かを考えさせられた。いわゆる障害より、心、とられること等、別のところに障害があるような気がします。
- ・出場者が東京パラリンピックでも何か関わられたらいいと思いました。
- ・言葉では表現できない程の感動と勇気をもらいました。どうかこの様なコンサートを続けてください。ありがとうございました。
- ・貝谷さんの著作を読ませて頂き、ファンになりました。これからも応援しています。
- ・メッセージ性が強い曲が多く、心に感じる場所が多々ありました。進行状況もテンポが良く、楽しいです。映像効果もステキでグレードアップしたステージをありがとうございました。
- ・コンサートの質の高さに感動しました。いつまでも続けてほしいです。
- ・スクリーンで写していただき、老人にとってもよくわかりました。スタッフ、ボランティアの方々にも感謝！
- ・出場者に、普通にミュージックステーションに出演してほしいです。
- ・音楽のすばらしさを感じる事ができ、幸せな時間を過ごす事ができました。障害のあるなしに関わらない尊いものを感じました。
- ・毎回楽しみにしています。自閉症児の息子もコンサートに出場すると夢みて日々ピアノを頑張っています。ゴールドコンサートがずっと続きますように。機会があれば私もボランティアとして参加させて頂きたいです。
- ・4年生の息子が一生懸命聞いていました。知的障害でこんなに長い時間落ち着いて見れたのは初めてでした。きっと惹かれるものがあったのでしょうか。
- ・鑑賞者としては、障がい者による音楽という事ではなく、純粋に音楽として楽しめれば一番です。そして、このコンサートは、そのレベルに達していると確信しました。
- ・2020年の東京オリンピック、パラリンピックをきっかけにして、日本社会が今以上に障がい者との共存共栄に向けて好転することを願います。
- ・ひとりひとりの思いがあふれた演奏でした。どの方も素晴らしかった。本人ももちろん、ご家族も素晴らしいのでしょうか。
- ・素晴らしい。みんないきいきしている。みんな楽しそう。みんなつながっている。みんな一緒。
- ・素晴らしい。未永く残すべきイベントだと思います。
- ・全員の出演者の方々の心あたたまる演奏、歌声に感動しました。また機会があれば、是非コンサートに行きたいです。東儀さんの演奏もすばらしかったのですが、トークにも感動しました。
- ・開場時間を予定通りをお願いしたい。
- ・全盲の主人と来場しましたが、会場に入ってから点字パンフレットの存在を知り、頂く事が出来ませんでした。こういう催しだからこそ、スタッフに周知して欲しかったです。
- ・全国各地でやるのはダメなんですか？
- ・会場内の足下が冷え過ぎですので、もう少し温度を上げていただけたらと思います。
- ・演奏毎の審査員のコメントは省いても良いのではないのでしょうか？
- ・遠方から来ているので、もう少し時間を早めてほしいです。
- ・もっと早く終わりにしてください。etc.



ボランティア アンケート結果

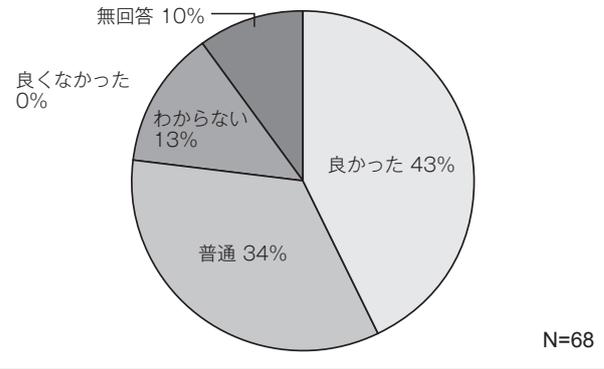
1. ボランティア募集はどこでお知りになりましたか？



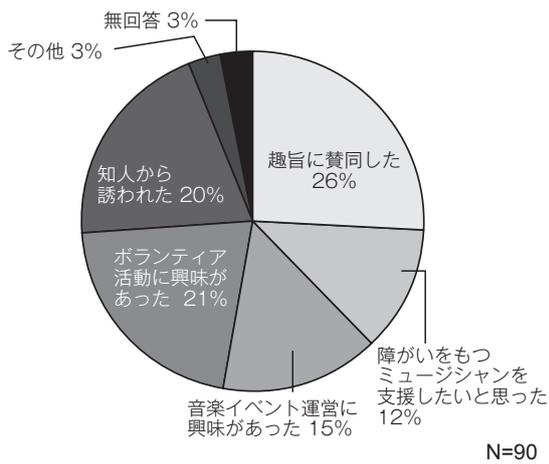
<その他の回答>

- ・会社関係
- ・バリアフリー協会からの案内

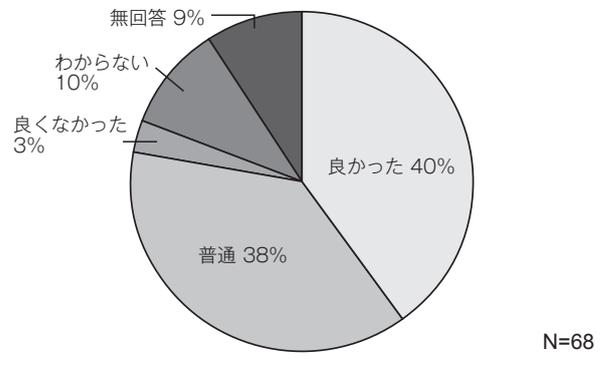
4. 障がいをもつ出場者への配慮について



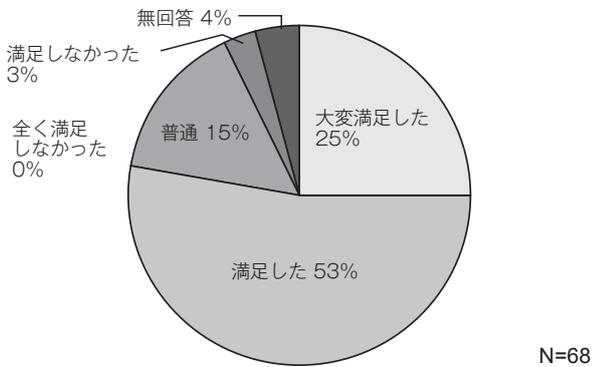
2. ボランティアに参加したいと思ったきっかけはなんですか？



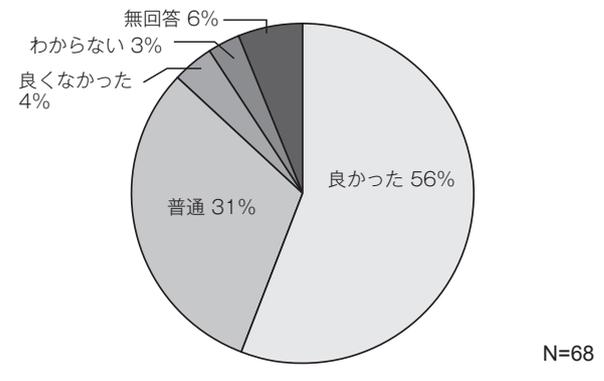
5. 障がいをもつ観客への配慮について



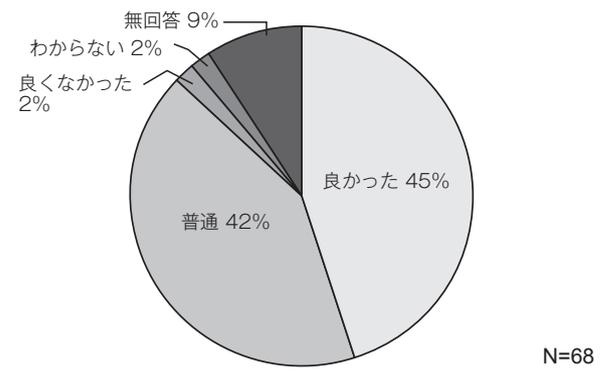
3. ボランティアに参加していかがでしたか？



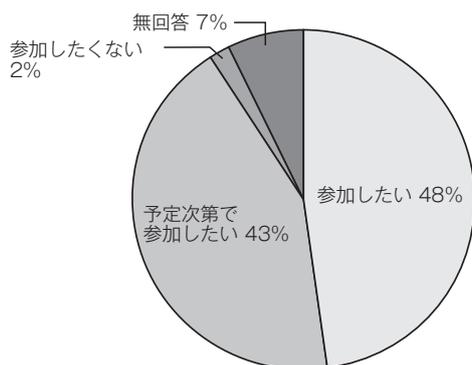
6. 会場・設備について



7. 全体の運営について



8. 来年以降も、ボランティアに参加したいと思いますか？



N=68



©川津貴信

●自由記述

- ・体が不自由ながら観に来られている方のことを考えると、開場が遅れるのはとても悪いと思います。
- ・時間が毎回押し過ぎです。プログラムを詰め込み過ぎ。内容はとても良いのもったいないです。
- ・会場にて座席番号をかいた会場地図をはっておくと親切だったのでは。
- ・会場外案内中、お客様から細かな質問を受けることが多かったです。FAQのような問答集があれば、ある程度対応できたと思います（例：再入場の可否、取り置きチケットキャンセル方法、その他）。
- ・車イス席が審査員席に近すぎて、移りたい方がいました。常時介助が必要な方には席が近すぎるのかもしれませんが。
- ・身障者用トイレマップを作成した方がよいと思います。
- ・館内案内の後、各自で空き時間にもう一度導線の確認をするように指示があるとよいと思います。
- ・フォーラムの方との仕事のすみ分けの説明がなかった。
- ・出場者の入り時間、リハ時間、楽屋などの情報はできる限りひとつの紙におさまっていると慌てなくて済むかもしれません（何枚も紙があると、手でバラバラになってしまいます）。
- ・手持ちぶさたな時間が少々あったのが気になりました。
- ・待機時間が長いです。もう少し少ない人数でのボランティア運営も可能だと思います。
- ・出演者の方が気さくに話しかけてくれ楽しくできました。
- ・帰られる方から、「とても良かった、ご苦労様」と言われ、感じるものがありました。見る人、演じる人、みなさん優しい！！
- ・ただただ感動でした。また障がい乗り越えての演奏に勇気もらいました。すばらしい機会をありがとうございました！
etc.

収支決済書／ボランティア募集

収支決算書

収入の部	
団体助成金	¥5,971,140
企業協賛金	¥5,877,728
個人協賛金	¥636,000
チケット売上	¥1,755,000
昨年繰り越し	¥96,945
合計	¥14,336,813

支出の部	
会場賃借料	¥3,190,339
舞台製作費	¥2,153,479
旅費交通費	¥1,788,221
通信運搬費	¥608,660
印刷費	¥1,020,595
消耗品費	¥287,000
チケット手数料	¥44,340
事務人件費	¥3,000,000
映像製作費	¥1,548,750
インターネット生放送	¥420,000
保険料	¥20,400
著作権料	¥150,000
合計	¥14,231,784
収支差額	¥105,029

第11回ゴールドコンサート 実行委員・ボランティア募集について

「第11回ゴールドコンサート」(2014年10月13日(月・祝) / 東京国際フォーラム ホールC) の運営を有志でお手伝いしていただける方を探しています。昨年の10周年記念ゴールドコンサートでは、学生から社会人の方まで約250名の方にご参加いただきました。

●実行委員（随時募集）

コンサートの事前準備から参加いただける方。企画、告知宣伝、当日運営などの主導的役割を務めていただきます。

●ボランティア（2014年夏頃募集開始予定）

コンサートの運営を有志でお手伝いいただける方。事前準備（可能な方）、事前説明会、当日運営にご参加いただきます。

詳細は下記までお問合せください。

NPO 法人日本バリアフリー協会 ゴールドコンサート事務局

TEL : 03-5215-1485 / FAX : 03-5215-1735

E-mail : info@npjba.org

URL : http://www.npojba.org



協力者の皆様

■補助事業

公益財団法人 JKA

■後援

厚生労働省

文部科学省

東京都

千代田区

米国大使館

社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団

社会福祉法人視覚障害者支援総合センター

全国自立生活センター協議会

全国特別支援教育推進連盟

社会福祉法人鉄道身障者福祉協会

日本音楽財団

一般社団法人日本筋ジストロフィー協会

公益社団法人日本フィランソロピー協会

■助成

PIVOT 基金

他 匿名希望 1 社

■協賛<企業・団体>

アステラス製薬株式会社

アドビ システムズ 株式会社

株式会社大塚商会

公益財団法人オリックス財団

関西学院大学

キッコーマン株式会社

キューピーグループマッチングギフト「QPeace」

グラクソ・スミスクライン株式会社

株式会社 KDDI チャレンジド

国際ソロプチミスト川崎

株式会社コヤマドライビングスクール

損保ジャパンちぎゅうくらぶ

東神電気株式会社

トルコ航空

日本コムシス株式会社

日本信号株式会社

株式会社日本テレソフト

ノーベルファーマ株式会社

パイオニア株式会社

ファイザー株式会社

株式会社フォーシーズ

有限会社フジオート FUJICON

株式会社フジテレビジョン

Meiji Seika ファルマ株式会社

明治安田生命保険相互会社

株式会社モンベル

医療法人和楽会

他 匿名希望 1 社

■協力<企業・団体>

株式会社アルファビート

いっぽ

株式会社エイチ・アイ・エス

FMC ワッホー編集部

株式会社Jストリーム

シャープ株式会社

社会福祉法人太陽会 しょうぶ学園

スタンダードチャータード銀行

デンマーク筋ジストロフィー協会

東京地下鉄株式会社

栃木煎餅 こめの里本舗

とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI

NPO 法人日本バリアフリー政策研究所

NEW HERITAGE THEATRE GROUP

バンローリング株式会社

株式会社ファーストシステムコンサルティング

三菱 UFJ 信託銀行

株式会社メディカルフォーラム

株式会社 矢島聰子事務所

株式会社レイジースーザン

六本木 Blues Dog Café

他 匿名希望 1 社

■協賛<個人>

新居 倫子

加藤 喜昭

林 正栄

安藤 勇寿

河端 静子

福澤 利夫

伊藤 基江

北原 恵美

福島 浩太

今泉 至明

久保木 富房

福島 敏子

内田 千代子

小西 光男

細川 佳代子

浦田 泉

佐々木 司

吉井 勇

大木 聖薫

清水 育美

吉崎 久江

大島 博

清水 千佳代

吉崎 英雄

奥林 群司

竹田 保

吉田 栄治

他 匿名希望 15 名

協力者の皆様

■制作協力

アートディレクター：tomo
印刷：協友印刷株式会社
舞台製作：中村 公一（株式会社シーエイティプロデュース）
舞台進行：渡邊 武晴、桃井 直樹
舞台監督：株式会社ヘッドロック
音響：株式会社トレジャーアイランドコーポレーション
照明：株式会社クリエイティブ・アート・シンク
映像：アイザック株式会社
文字通訳：PC 字幕 [Flex]
手話通訳：一般財団法人 トライアングル金山記念聴覚障害児教育財団
（旧 聴覚障害児と共に歩む会・トライアングル）
聴こえ支援：NPO 法人 ユニバーサル・サウンドデザイン
ヘアデザイン：Kicca
写真撮影：朝比奈 信弘
安澤 剛直
大高 英樹
川津 貴信
株式会社フォトライフ
インターネット生放送：株式会社Jストリーム
ホームページ制作：株式会社 CMS コミュニケーションズ

■感謝状贈呈

アドビ システムズ 株式会社
関西学院大学
明治安田生命保険相互会社

■受賞者へのプレゼンター

梅田 一郎（ファイザー株式会社 代表取締役社長）
清水 一巳（日本信号株式会社 執行役員）
恩田 克己（株式会社フォーシーズ マーケティング本部 執行役員）
濱島 安男（Meiji Seika ファルマ株式会社 薬品営業本部 CNS 領域部 部長）

■出場者、特別ゲストへの花束贈呈

山本 泰子、他会員 12 名（国際ソロプチミスト川崎）



© 川津貴信



協力者の皆様

■当日取材マスメディアなど

NHK
 TBS テレビ
 テレビ新潟
 新潟日報
 朝日学生新聞
 はたらくよろこびデザイン室
 ダイメディア



© 安澤剛直

■事前、事後の取材・告知協カマスメディアなど

読売新聞
 朝日新聞
 新潟日報
 毎日新聞「点字毎日」
 ミュージックトレード
 邦楽ジャーナル
 音楽之友社「教育音楽」
 東京ミュージック・ボランティア協会「Happy & Healthy Music」
 ニューメディア
 WaWaWa 編集部「チェアウォーカー WaWaWa」
 FMC ワッホー編集部「WAHHO!」
 カワムラサイクル「arco」
 東京国際フォーラム「toward FORUM」
 鉄道身障者福祉協会「リハビリテーション」
 高齢・障害・求職者雇用支援機構「働く広場」
 日本プランニングセンター「難病と在宅ケア」
 日本点字図書館「にってんデイジーマガジン」
 日本筋ジストロフィー協会「一日も早く」
 日本てんかん協会「波」
 東京都社会福祉協議会「福祉広報」
 神奈川県社会福祉協議会「ふくし TIMES」
 ※当法人が把握しているもののみ掲載しています



© 安澤剛直



GOLD
 CONCERT 10th
 ANNIVERSARY



審査員・特別ゲスト・ご挨拶・司会の皆様

審査員

<審査員長>

湯川 れい子 (音楽評論家・作詞家)

<特別審査員>

吉岡 正晴 (音楽評論家)

<審査員>

阿部 恒世 (WAWAWA 編集長)

及川 眠子 (作詞家・作家)

オーラリード
Ora Reed (ボーカリスト・ピアニスト)

仲川 一昭 (福祉の管弦楽団まごころ・ボランティアオーケストラ「響 (ゆら)」代表・指揮者)

萩原 岳 (ナレーター、メディア・エンタテインメント・販売コンサルタント)

畠山 卓朗 (早稲田大学人間科学学術院教授)

特別ゲスト

東儀 秀樹 (雅楽師)

マシュー ウィッタカー
Matthew Whitaker (ジャズピアニスト)

※佐藤英里さん (第9回大会グランプリ) が共演しました。

ご挨拶

野田 聖子 (衆議院議員)

メッセージ

マリオン ジェイカーフィー
Marion J. Caffey (アポロシアター アマチュア・ナイト プロデューサー)

ボザ リバーズ
Voza Rivers (ニューヘリテージシアター 理事長)

阿部 勝弥 (ニューヘリテージシアター 理事 国際プロデューサー)

司会

村松 加王里 (フリーアナウンサー)

ホーキング青山 (史上初の身体障害者のお笑い芸人)

運営ボランティア ※希望者のみ掲載させていただきました

赤松 尚恵	漆原 由祐子	菊池 尚樹	田中 俊二	早崎 真	山内 翔大
阿部 正彬	大久保 哲穂	桑田 拓	棚橋 裕多	原 巧	山川 剛
李 周恩	大澤 美奈子	小林 千紘	當間 信義	檜垣 恭子	山田 良太
石川 政宏	大西 迪啓	斉藤 裕歩	永住 堂氏	福田 未希	山本 彩未
石田 裕司	岡 秀樹	佐藤 美由紀	中田 成彦	藤井 治	山本 恵美
石渡 絢子	小笠原 光志	関 麻希	中村 恵子	藤崎 雅高	山本 吉秀
板倉 悠	岡部 功	十川 奈美子	西 裕太郎	古田 文昭	横田 将史
一杉 可奈子	荻田 昌子	高萩 依乃富	二條 孝基	細川 直子	吉田 健彦
印出 智代	小野 正人	高橋 愛弓	庭野 知佐子	松丸 麻子	吉田 央
内田 健太	勝俣 俊哉	高橋 毅	萩原 隆徳	南口 彩華	
鵜沼 豊	神谷 忠	田中 昌彦	浜田 健彦	本川 晶子	



組織委員会

■組織委員会

会長	野田 聖子	衆議院議員
名誉顧問	エーバルド・クロー	デンマーク筋ジストロフィー協会 会長
顧問	長谷川 岳	参議院議員
	平松 一夫	関西学院大学 教授
理事	荒 義彦 アレクサンドル	株式会社ウィルビー・インターナショナル セールスマネージャー
	伊藤 和博	
	今福 義明	アクセスジャパン 代表
	奥山 俊博	東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員
	貝谷 嘉洋	NPO 法人日本バリアフリー協会 代表理事
	金子 秀明	株式会社日本テレソフト 社長
	小林 るつ子	玩具福祉学会 理事長
	斎藤 省	有限会社さいとう工房 社長
	下山 晴彦	東京大学大学院教育学研究科 臨床心理学コース 教授
	鈴木 麻美子	株式会社マグナ 代表取締役
	高木 真	財団法人日本チャリティ協会
	高橋 久	
	高橋 実	社会福祉法人視覚障害者支援総合センター 理事長
	高橋 陽子	公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長
	竹中 ナミ	社会福祉法人プロップステーション 理事長
	寺田 学	株式会社 CMS コミュニケーションズ 代表取締役社長
	仲川 一昭	福祉の管弦楽団まごころ・ボランティアオーケストラ「響(ゆら)」代表・指揮者
	長崎 栄	株式会社ダイレクト インブット
	西野 弘	株式会社プロシード 社長
	野澤 勝	株式会社コヤマドライビングスクール二子玉川校 副校長
	Peter David Pedersen	株式会社イースクエア 代表取締役社長
	馬渡 徹郎	NPO 法人音の羽根 理事長
	宮本 修	株式会社光文社
	安田 武晴	読売新聞
	山下 桜	バイオニア株式会社
	吉井 勇	株式会社ニューメディア 月刊ニューメディア 編集長
	吉井 康雄	株式会社スポーツニッポン新聞社

■実行委員会

実行委員長	貝谷 嘉洋 (NPO 法人日本バリアフリー協会 代表理事)					
小委員会委員長	鈴木 麻美子	寺田 学	福島 浩太	山本 真也	渡邊 武晴	
委員	北川 知彦	清水 育美	田中 裕美	丹羽 真規	堀 隆三	
李 宰権	金 圓景	下村 大介	崔 仙姫	布川 清彦	堀越 美江	
植田 誠	金 美寧	須江 好美	近見 勇生	迫 まりあ	前川 めぐみ	
大木 聖薫	小酒 真由子	鈴木 雅弘	土井 葉月	濱田 朝美	松繁 卓哉	
大原 貴子	小西 明宏	須藤 貴士	中根 克	韓 星民	三田 隆広	
大山 絲子	斎藤 日登美	関口 京子	中村 公一	半田 朋美	宮下 あけみ	
岡部 寛美	篠原 智子	関本 友紀	中村 辰男	福島 敏子	村松 加王里	
織田 友理子	嶋川 史剛	相馬 優一郎	成澤 俊輔	棒谷 愛子	山崎 等	
柏木 雅枝	島村 かおり	高野 康子	西口 久美子	ホーキング青山		

■事務局

貝谷 嘉洋 諏訪間 裕子 日比野 悟知
 荒 良英 高橋 純代 村上 恭子

■主 催

NPO 法人日本バリアフリー協会

10 スタッフTシャツ紹介

ゴールドコンサートのボランティアの皆様にお配りしているスタッフTシャツは、5周年記念大会からアドビ システムズ 株式会社様のご協力により、デザインから制作に至るまで全て無償で行なっていただいております。

5周年記念ゴールドコンサート



第6回ゴールドコンサート



第7回ゴールドコンサート



第8回ゴールドコンサート



第9回ゴールドコンサート



10周年記念ゴールドコンサート



🎵 ゴールドコンサート 10 回を振り返って

夢の第一歩「第 1 回ゴールドコンサート」に向けて

2000 年の夏にアメリカ留学から帰国し、第 1 回ゴールドコンサートを開催する 2003 年までには 3 年の歳月がかかりました。

その間、ジョイスティック車（※ 1）の普及、本邦初の新規免許取得、これらの活動を記した著書の執筆、NPO 法人日本バリアフリー協会の設立、介護事業の立ち上げなど、夢の第一歩に向けて基盤を作りました。

最初のイベント名に「第 1 回」と入れた訳は、すでにその時継続的に開催することを決めていたからです。数万人規模のデンマークのグリーンコンサート（※ 2）が目標なのですから、私の中では当然でした。

障がい者の音楽コンテスト誕生

グリーンコンサートの開催目的は、主催者のデンマーク筋ジストロフィー協会が活動資金を集めるためのいわゆるファンドレイズなので、

「日本版のゴールドコンサートでも同じようにファンドレイズをしたいんです！」

そのことを周りの関係者にしきりに吹いていました。やはり周りの反応はいまいち。

「とにかく音楽イベントを通してバリアフリーな社会にしたいのです」

と言うと、ちょっとわかったような顔をしますが、それでもいまいち。そこで、とある有力者に相談に行くと、

「コンテストにしたら面白いんじゃないの？」

と言ってくださいました。障がい者が出場するコンテストなら、目的もやる内容もわかりやすいので、ピンとききました。

早速インターネットで検索してみると、障がいを持つミュージシャンは全国にいるものです。「これはいける」と思いました。また副題は、オーディション「探せ！ 21 世紀のスティービーワンダー」と、意欲的なものとなりました。

会場も 188 名収容のバリアフリーの千代田区内幸町ホールが、5 月 5 日の子供の日というすばらしい日程で取れました。

こうして改めて周りに呼びかけると、キーパーソンを紹介してくださる有力者の方々、有志で関わって

れる実行委員さん、民間の助成団体や協賛企業、そして出場希望者が集まってくれました。

ズブの素人の悪戦苦闘

それまで企画運営にかかわったイベントは、2 つしかありませんでした。最初は、留学中にカリフォルニア大学バークレイ校で広報担当の実行委員として関わった、沖縄のミュージシャン喜納昌吉さんのミニコンサートです。

まあまあの人が集まり満足できるものでしたが、所詮、主催者ではないので大変さも限られていました。

次は、帰国後に主催した「すべての日本人にモビリティを」というシンポジウムです。会場の車寄せで当時日本に 2 台しかなかったジョイスティック車の試乗会をやり、建物内でシンポジウムを行いました。試乗は大盛況、シンポジウムは閑古鳥が鳴いてしまいました。その日はくたくたに疲れたのを覚えています。

本来は音楽イベント企画運営の専門学校で一通り勉強すべきだったかもしれませんが、

「とにかく第 1 回を開催しなければ、何も始まらない」という熱意が先行していました。すると不思議なもので、私の足りない部分を補ってくれる人が実行委員として関わってくれることになっていきました。特に音響や照明などの舞台演出についてはほとんど知識がなく、本当に助けられました。

音楽イベントにおいてはズブの素人でしたが、事務局はなく自分自身でほとんどすべての事務作業・連絡を行ないました。多くの方々助けられ、何とか当日を迎えることができました。学びも多かったと思います。

第 1 回ゴールドコンサート当日

その日はそれまでの人生で、最も充足感のある日となりました。

まず、全国から集まってくれた障がいを持つ仲間たちとの交流。自分（筋ジストロフィー）とは違う知的、視覚、聴覚などの障がいを持っている人々と直接触れ合えたのは新鮮でした。この日のために稽古して腕を上げたミュージシャンに感服しました。

次に、座席の溢れんばかりの観客の皆さんが拍手喝



記念すべき第1回大会。コンテストの後に皆でジョンレノンの「Imagine」を歌いました。©川津貴信

采をしている姿を見て、心から喜びがこみあげてきました。観客のほとんどを占める協力者、関係者の方々に感謝の気持ちでいっぱいになりました。また、野田聖子衆議院議員をはじめ多くのVIPの方々が、この小さなコンサートのために大切な時間を割いてくれてありがたかったです。

最後に、ボランティアまたは協力価格で手伝ってくれたスタッフの皆さん。私のような未熟なリーダーに最後までついてきてくれました。感謝の極みでした。

大きな成果

第1回ゴールドコンサートにおいて顕著だったのは、マスメディアの取り上げが他のどの回よりも質・量ともに充実していたことです。複数の大手新聞社やNHKなど影響力のあるメディアが大きく（長く）とりあげてくれました。

最初に構想してから4年の歳月が経ち、満を持して開催した第1回は、その後ゴールドコンサートが飛躍していく上で大きな成果をあげました。

一気に3倍の規模

第1回ゴールドコンサートは小ホールの約200席が満杯になったので、2年後に予定していた第2回は中ホール（概ね1,000席以内）を探しました。

ゴールドコンサートの会場選びは普通のイベントよりも難しいです。

必要な条件は、まずバリアフリーであることです。観客席はもちろん、出場者に車

いすの人がいるので、ステージや楽屋も段差があってはなりません。

次にアクセスがいいことです。最寄駅がバリアフリーであることはもちろん、地方からの参加者も多いので東京駅や羽田空港から便利な所が求められます。

最後に普通のイベントスペースではなく音楽ホールであることです。音楽性を競い合う場なのでクオリティが求められるのと、音響、照明などの機材が整っているからです。

調査を行った結果、このような条件の中ホールは中央区の「第一生命ホール」（約750席）しかありませんでした。会場のサイズとしてはかなりの飛躍でしたが、何とか資金を得て、6.7割ではあるが席を埋めることができました。

ただ、第一生命ホールは新しいのでかなりバリアフリーでしたが、動線が複雑で特に客席と楽屋の行き来が大変でした。楽屋も少々手狭でした。また、アクセ



第2回大会は第一生命ホールで行いました。©川津貴信

スも最寄駅はバリアフリーでも乗り継ぎの面で便利とはいえませんでした。

第2回からは、全国の特別支援学校、千代田区の小学校など児童・生徒の無料招待をはじめました。

「子供は先入観があまりないので、障がい者について理解してもらいやすい」

という考えでした。今では引率者も含めて毎年300名程の児童・生徒関係者が来場しています。



© 川津貴信

第4回大会に初めて韓国から障がいをもつミュージシャンが来日し、演奏しました。

東京国際フォーラムに一里塚

そこで、第3回ゴールドコンサートに向けて再び会場探しとなりました。参考までにと見学に行ったのが「東京国際フォーラム ホールC」(約1,500席)でした。

思った以上にバリアフリー化がされていて、特に楽屋や通路、ステージ袖の広さが規模を考慮にいれても他のホールを圧倒していました。

数日間迷った末に

「東京国際フォーラム ホールCで体育の日にやるぞ！」

と第2回から1年半後に行くことを決心しました。

第1回の時よりも準備は多忙で大変でした。協力者、優秀なスタッフに恵まれて何とか6,7割の席を埋めました。出場者のレベルも音楽性という意味では大きく飛躍しました。また、特別ゲストには東儀秀樹さんという著名なアーティストを招へいすることができました。

その後も、2013年の10周年記念大会まで毎年東京国際フォーラムで開催し、NHK紅白歌合戦の出場経験があるか、それに匹敵するような著名なアーティストに毎回出演していただいています。

草の根の国際交流

私たちのチャレンジはまだ続きます。第4回からは、韓国から障がいを持つミュージシャンにも出場してもらっています。

第3回大会が終わると関係者の中から

「アジアを中心とした国際大会にしてみたら？」

という声があがり始めました。

「日本は何のかんの言っても障がい者政策は進んでいて、手厚いので、アジアに貢献するのは意義深い。」

という理由です。規模を拡大したばかりで、毎年の

開催を定着させることのみで精一杯でしたから、最初は尻込みしていました。しかし、

「自分も留学中アメリカから多くのことを学んだので、同じように国際協力をすべきだ。」

と、決意しました。そして、第4回大会はお隣の韓国からの出場の実現を目標にしました。

とはいえ、韓国には繋がりがほとんどありませんでした。そこで、韓国の大使館に出場者を探してもらうことにしました。最初なので最も大きな窓口を開けば、あとがやりやすくなるという気持ちもありました。

関係者の協力もあり、「オウルリム」という知的障がい者のバンド(写真)が来てくれました。また、大使館のほうでも趣旨に賛同し、公使の朴錫煥氏がゴールドコンサート当日来場し、祝辞を述べてくださいました。

当日は、5人の10代の子供たちがメイクアップして派手な衣装で、「ハムケ(一緒に)」という曲のパフォーマンスをみせてくれました。その後の緊張から解放されて満足した顔を舞台袖で見て、

「韓国から来ていただいて本当によかった」

と、思いました。

次の年からは少しずつ窓口を広げていき、昨年の第10回までに毎回で合計10組51名(介添え者含む)の方々が来日し、交流を深めています。

また当初来、韓国に本拠地がある「サムスングループ」の協力があり、特に運営を手伝う社員のボランティアさんは延べ100名にのぼり、日本サムスン株式会社社長(当時)の季昌烈氏もボランティアとして参加していただきました。

さらに他の諸国からの応募も少しずつ増え、台湾、デンマーク、パキスタンからの出場も果たしました。



10周年記念大会。恒例となった野田聖子衆議院議員のあいさつ。
© 大高英樹



初公開！10周年記念大会の審査会の様子。
© 安澤剛直



10周年記念大会。舞台あいさつで最後を締める。
© 大高英樹

今後もゴールドコンサートは社会のニーズに合った形で継続いたします。
皆様のご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

ゴールドコンサート実行委員長 貝谷嘉洋

※1 ジョイスティック車

一本の棒状の装置を前後左右に動かすことにより運転できる。我が国では筆者の乗る1台のみ（クライスラー・グランドキャラバン）稼働し、握力が2キロの筆者でも運転できる。

※2 グリーンコンサート

デンマーク7か所ですべて20万人を毎年動員する野外コンサートで複数の人気グループが演奏するもの。筋ジストロフィーの理解を深めると同時に、入場料と飲食物による利益が筋ジストロフィー者支援の活動にあてられる。

ゴールドコンサート 開催記録

大会回数	第1回	第2回	第3回	第4回	5周年
開催日時	2003/5/5 (月・祝)	2005/5/1 (日)	2006/10/9(月・祝)	2007/10/8(月・祝)	2008/10/13(月・祝)
会場	千代田区内幸町ホール	第一生命ホール	東京国際フォーラム ホールC	東京国際フォーラム ホールC	東京国際フォーラム ホールC
応募組数	18	45	131	79	65
入場者数	188	450	745	884	945
当日スタッフ (ボランティア含)	70	140	250	300	250
メディア取材数	14	27	25	22	17
当日取材メディア	NHK	フジテレビ、 NHK、他	NHK 首都圏放送センター	NHK 首都圏ネットワーク、 TBS、他5社	産経新聞、 光文社、他3社
ネットアクセス				134	999
助成団体数	1	2	2	2	2
協賛団体数	15	22	25	28	30
個人協賛人数	4	6	12	14	31
決算額	2,026,817	3,886,572	11,792,283	11,807,831	11,762,859
特別ゲスト			東儀 秀樹	木下 航志	渡辺 香津美プレゼンツ Catsle In The Air (谷川公子+渡辺香津美)
メッセージ	有森 裕子	大黒 摩季 スティービー・ワンダー	大黒 摩季 ピーター・バラカン 湯川 れい子	大黒 摩季 東儀 秀樹 エーバルド・クロー (デンマーク筋ジスト ロフィー協会会長)	デビッド・サンボーン 林家 正蔵 初代タイガーマスク (佐山 サトル)
審査員長		弘田 三枝子	弘田 三枝子	弘田 三枝子	湯川 れい子
出場者	朝霧 裕 石野 輝彦 上田 賢次 URANOバンド GLAN こころおと 鈴木 信夫 奏年隊 高橋 久美子 堤 友彦 布施 和生 BRIGHT EYES 真昼の月 三辻 雅典 森本 健一	板橋 和幸 掛屋 剛志 河崎 みゆき 立道 聡子 II-time 友彦& TOKU どうでSHOW 藤田 典人 前川 裕美 真北 聖子 mi&PaPa 水原 一 三辻 雅典 室 菜七恵	穴澤 雄介 安部 啓太 荒川知子と ファミリーアンサンブル あらもり祭 板橋 和幸 片岡 亮太 金子 愛実 佐野 彰芳 sketchbook STEPS 瀬口 みずほ Darjiling 珍獣王国 花谷 尚子 福本 淳	アコースティックハーブ 板橋 かずゆき 岩井 のぞみ 金子 愛美 金 康治 The J.B.f ツネ蔵 ファイブローズ フリーダム ホンキートンク 真北 聖子 <海外出場者> オウルリム (韓国)	アコースティックハーブ 穴澤 雄介 安部 啓太 板橋 かずゆき 大石 亜矢子 ツネ蔵 新倉 壮朗 ファイブローズ まえぼん 山崎 広海 ロココ <海外出場者> My Blue Diary (韓国) ユースンフン (韓国)
特別出場者 (審査対象外)					Mr.KAZUTO

第6回	第7回	第8回	第9回	10周年
2009/10/12 (月・祝)	2010/10/3 (日)	2011/10/15 (土)	2012/9/22 (土・祝)	2013/10/14 (月・祝)
東京国際フォーラム ホールC	東京国際フォーラム ホールC	東京国際フォーラム ホールC	東京国際フォーラム ホールC	東京国際フォーラム ホールC
52	121	93	106	グランドチャンピオン 大会のため、募集なし
1,015	1,030	955	934	1,045
250	250	300	250	250
16	28	58	53	29 (出場者募集なしの為減少)
音楽之友社、他	フジテレビ、 テレビ新潟、他	NHK、日本テレビ、 TBSテレビ、 読売新聞、共同通信、他	TBSテレビ、 テレビ埼玉、 テレビ新潟、スポニチ、他	NHK、TBSテレビ、 テレビ新潟、 朝日小学生新聞、 新潟日報、他
2,886	2,113	2,084	2,534	554
2	4	2	4	3
25	21	27	31	29
33	38	55	29	42
13,073,125	14,220,109	13,293,464	14,467,386	14,231,784
今井 絵理子 elly	相川 七瀬	島津 亜矢 ぱすぽ☆	NOKKO 嘉門 達夫	東儀 秀樹 マシュー・ウィツテカー
三倉 茉奈・三倉 佳奈 中田 有紀	エーバルド・クロー 長谷川 穂積 スタッフ・ベンダ・ピリリ 立道 聡子	平原 綾香	マーカス・ミラー 野田 聖子	野田 聖子
湯川 れい子	湯川 れい子	湯川 れい子	湯川 れい子	湯川 れい子
アコースティックハーブ 穴澤 雄介 出 -IZR- スケッチブック ダブルM 珍獣王国 ツネ蔵 with Yuko 真北 聖子 宮川 秀美 山崎 広海 <海外出場者> Cosmical (韓国)	穴澤 雄介 神威 龍牙 MLP CONSECRATE 勤労障がい者長崎打楽団 瑞宝太鼓 栗山 龍太 佐藤 英里 鈴木 加奈子 T to H ホスピタルズ <海外出場者> SB (韓国) Darkflow (韓国)	梅澤 専勇 大城 友弥 Can_on 小林 淳一 佐藤 英里 仲里 尚英&国吉 政淳 フラクタル・ショートケイクス 森 圭一郎 <海外出場者> Lee Minseok (韓国) 黄 裕翔 (台湾) YUSK (ドイツ)	音心 古西 夜香 SAKURANBO 佐藤 英里 storia CHECK DoLL TOMOKO 真北 聖子 YASUO 矢田 匠 <海外出場者> 4番出口 (韓国) Peter Nielsen (デンマーク)	穴澤 雄介 石野 輝 大石 亜矢子 The J.B.'f 佐藤 英里 Darjiling 前川 裕美 森 圭一郎 山下 純一 <海外出場者> The Sound (韓国)
OUT OF TUNE	上田 賢次 濱田 朝美		式町 水晶 富岳太鼓竜神組	ー海外特別出場者ー オマー・パーヴェイズ (パキスタン)

トルコ・デンマーク視察報告

ゴールドコンサート協賛企業であるトルコ航空の支援を受けて、トルコの障がい者団体との交流および、ゴールドコンサートの起源であるデンマーク・グリーンコンサートの視察に行ってきました。

1. 事前準備から現地ホテル到着まで

昨年開催した第9回ゴールドコンサートにおいて、トルコ航空が国際線の無料航空券を協賛してくれました。

ゴールドコンサートは草の根の国際交流をすることも目的であり、この無料航空券を使用して、まずは主要都市インタンブールを訪問し、交流の第一歩を踏み出すこととしました。

また、ゴールドコンサートは、デンマークのグリーンコンサートを視察した私が感銘を受け、その日本版を創めたものです。そこで、同時に31回目を迎えるグリーンコンサートやそれを支える社会を関係者と共に視察することとしました。

私は重度の筋ジストロフィーのため24時間の介護が必要で、海外出張には2名以上の介護者が必要です。今回は、2名のヘルパー、弊社事務職員の高橋純代、ゴールドコンサート実行委員の寺田学さん、鈴木麻美子さん、その他関係者2名が同行してくれました。

今回の出張においては、インタンブールに2泊し、オーフス（デンマーク第2の都市）に2泊し、コペンハーゲン（同首都）に3泊しました。

行き。成田空港にて。チェックインカウンターで、通常の預け荷物のほかに、自分の電動車いすを預けました。損傷から守るために、一部梱包をしました。その後、カウンター付近で自分の手押しの車いすに乗り換えました。

その手押しの車いすは、航空機の搭乗口まで乗っていきましました。そこでアイルチェアという狭い座席の間を通ることができる車いすに乗り換え、座席の付近まで移動しました。



成田空港にて。電動車いすの梱包作業。

座席はエコノミー。今回は、自分1人のために3席分を購入しました。座位を長時間保つことはきついで、3席を使い確実に横になるためです。これまでは、空席があることを予想し、実際そうであればその席を譲ってもらい、そうでなければ1席のみで何とかしていました。

そこまでの車いす間の移動介護2回よりも、アイルチェ

アから座席へのものが最もつらいです。今回同行の女性ヘルパーが比較的小柄な体を活かして、狭い通路で私を持ち上げ、座席に移しました。ちなみに、空港職員2名がヘルプに来ることになっていて、場合によってはその人たちにお願いすることもあります。

約12時間のフライトはさすがに堪えました。できる限り横になるよう心がけましたが、しまいには、圧力でお尻が痛くなってきました。それもあり、あまり眠れませんでした。あとは、座席から脚を下したり、胡坐にしたり、前の座席に寄りかかったりと、格好を次々とヘルパーさんに変えてもらいました。それでも、体のあちこちが悲鳴をあげました。

到着したイスタンブールの空港では、ターミナル（建物）にかけてのブリッジ（通路）がなく、専用のリフト車に乗ってのターミナルへの移動になりました。車いすを車に固定する固定具がない上に運転が荒かったので、すごく揺れて危険を感じました。

さて、空港からホテルまでは、ベンツのリフト車が移送してくれました。リフトは小さく頼りなく、前述の固定具もついていませんでした。ゆっくりと運転するようにお願いして何とか乗りました。

先進国ではないので、ある程度予想はしていましたが、なかなかひやひやする体験でした。ただ、イスタンブールから見えるマルマラ海は、そんな心を癒してくれました。

ホテルは古いものでしたが、バリアフリールームがあり、日本の標準的なホテルと同じくらい使いやすかったです。

2. トルコ・イスタンブール滞在記

私は13年前、片手で運転できるジョイスティック車で



イスタンブールの空港にて。空港内移動用のカーゴの中で、女性ヘルパーによる移乗介護。



イスタンブールにて。リフト車の中に車いすを固定するためのワイヤーがなかった。

北米大陸を一周しました。ただ、最初は欧州も計画に入っていて、その東の端がイスタンブールでした。イスタンブールは以前から最も行きたかった街で、行くのが夢でした。

しかし、先進国でもドイツ、フランス、イギリス、北欧といった割と裕福な国なら、それほど事前にアレンジをしなくても電動車いすで何とかかなりありますが、やはりトルコですとかなり躊躇しました。

今回はトルコ航空とのご縁、トルコに渡航経験の多い方の同行、さらには筋ジストロフィーの第一人者の医師とのコンタクトにより、確固とした生の情報があり、何かあった時に現地の有力者が何とかしてくれる体制がありました。また、リフト車もホテルも上記の方々の紹介で、業者に入ってもらいかなりお金をかけて見つけました。

このような努力と幸運が重なったからこそ、私の中でイスタンブール行きにゴーがでたのです。夢はかなうもの、かなえるものです。

一言でいえば、イスタンブールでは想像以上に素晴らしい体験をしました。2泊といっても、現地時間の夜に着き、2泊目の後は早朝の便で移動なので実質1日でしたが、まるで数日いたかのように濃い経験でした。

午前中は、トルコ障がい者協会を訪問しました。会長さんをはじめ協会を運営する方たち10名程が私たち一行を迎えてくれました。この協会は各地に支部を持つ全国組織です。



トルコ障がい者協会にて。会長、副会長らと。

表敬訪問という名目だったので、あまり深い話にはできなかつたと思いますが、お互いの国の障がい者の状況についてかなり突っ込んだ話ができました。トルコでは、政府も民間も障がい者支援にはあまりお金を投入しないことが、日本との大きな違いであることが最も印象に残りました。

また、音楽を通じた交流をしようということで、意気投合しました。私たちの開催する障がい者の音楽コンテスト、ゴールドコンサートに、トルコの障がいをもつミュージシャンに出場してもらうこと、また日本からも、ゴールドコンサートの出場者がトルコで演奏会を行うことなど、かなり具体的な話ができました。来年実現したいと言ったら、それまで待てないということまで言われました。

彼らと話をする中で、またその後街を観光する中で、障がい支援においては、医療、介護、支援機器、街のバリアフリー、移動すべての面で日本よりも遅れていることがわかりました。ただ、比較的新しい路面電車のトラムは完全にバリアフリーでしたし、東京の都心よりも多くの車いす利用者を見かけました。

午後は、ブルーモスク（スルタンアフメト・モスク）とアヤソフィア大聖堂の観光をしました。ブルーモスクはあまりバリアフリーではなく、中まではいけませんでした。アヤソフィアは、博物館ということもありかなりバリアフリー化されていました。



アヤソフィア大聖堂にて。電動車いすを最大限リクライニングすると、ドームがぼちり見える。

電動車いすのリクライニングとチルトを最大限倒して、このビザンチン建築の最高傑作と言われているアヤソフィアの天井をしばらく眺めていました。とても細かい装飾で張り巡

らされていて、美しさに目を見張りました。

イスラム時代の壁をはがすと、その下からキリスト時代の装飾が完全な形で残っていたという話には、宗教対立が結果として文化を温存したという意味で感慨を覚えました。

バリアフリー情報が少ない中で、効率よく回れたのは、タクルという日本語を話すトルコ人のおかげでした。歩道のところに段差があり戸惑っていた時に、段差のない部分を教えてくれた通りがかりの人です。日本人とも仕事で付き合いが深いようで、ゴールドコンサートやトルコの障がい者と交流をもった話をする、興味を持ってくれました。

そして、なんと夜まで私たちの観光案内をしてくれました。また、私の名前入りのプレゼントまでくれたのでした。その日はラマダンの夜、イスラム教の彼は夜8時半まで飲食はできませんでした。それに合わせて、ラマダンで大勢の人が集まっている広場の近くの野外レストランに誘ってくださり、目が回るようなメヴラーナというトルコの伝統的な踊りと音楽の観覧とともに、シシケバブやスープなどトルコ料理を堪能しました。お酒はラマダン中はもちろん駄目です。

今後もお付き合いができるような、友を得たような気分となり、再会を誓って別れま



イスタンブールのラマダンの夜。大勢の人が集まるお祭りでした。

した。

滞在中、シシケバブばかり食べていましたが、独特のスパイスが入っている羊肉も鶏肉も牛肉もすべておいしかったです。飲み物は、塩味のヨーグルトドリンク、アイランがお料理に合って結構おいしかったです。あと、ラクという強い蒸留酒は独特の香りでしたが、とてもおいしかったです。

時差ボケで眠れない中、早朝に響くコーランやラマダンのお祭りのコーランの響きは、今まで行ったことのない異国情緒あふれる音として今でも耳に残っています。

3. デンマーク新施設等の視察

旅行3日目の朝に、イスタンブールから3時間のフライトでデンマークの首都、コペンハーゲンに着きました。市内の目抜き通りを軽く観光した後、第2の都市オーフスまで車で3時間半移動しました。

車は、レンタルのフィアット社製リフト車で、もちろん固定具がついていてしかも簡単に脱着ができるものです。フルサイズのバンとしては割と低床で、車内高はハイルーフなしでもゆったりとしているので、私のように背が高い車いす利用者でも景色が見やすく、とても快適でした。

天気が非常によく、ユトランド半島や島々を結ぶ大橋からの景色は、過去3回の滞在中でも、最も良かったです。

オーフスで、スカンジックというホテルに泊まりました。改装されて日が浅く、気持ちよかったです。ロビー、レストラン、バーがともうまく配置されていて、階段とエレベーターがデザインにマッチして車いす対応になっていました。

また、個室はすべて車いすに対応していて、洗面台は車いすのまま使え、トイレ、シャワー室も十分なスペースがある洗面室があります。北欧のシンプルかつ機能的なデザインが、さりげなくバリアフリーを実現していてとても心地よかったです。

オーフス滞在中、今回の視察の大きな目的であったウォータースライダーに乗ってきました。エグモント・ホイスコーレンというオーフス近郊にある学校の中に、今年建てられた市民プールに、「誰もが利用できる」本格的なウォータースライダーがあるのです。

普通のウォータースライダーと何が違うか。エレベーターがあるので、車いすのままスタート地点に行けること、スタート地点とゴール地点に天井走行式リフトがあり、車いすとの移動が安全かつ快適にできるということ。指導員は一応いてアドバイスはくれますが、見守っているわけでもなく、障がい者のほうで用意したアシスタントが介護をすることになっています。

今回は、日本から同行した介護者2名・職員、現地の案

内人の合計4名の付き添いのもと行いました。

胡坐で座った状態の私の後ろから、男性の介護者が上半身を支え、足で挟むよう下半身を安定させ2人で一緒に滑りました。胡坐が崩れてしまうのを恐れ布のベルトで足首を結わえました。その介護者に事前に滑ってもらい、アドバイスをもらったり、あるいは励まされたりして、くじけそうになった心を何度も前向きに持っていくことができました。

気分は最高でした。あのスピード感やスリルは、ウォータースライダーに乗った20年前以来のことでした。本当は何度か滑りたかったのですが、準備等時間がかかったこともあり時間切れでした。

日本とは大きな違いを感じました。日本ではまず、私のような重度の障がい者が自己責任で乗りたいといっても、施設側が受け入れてくれません。また、バリアフリー設計にはなっていないので、介護が大変すぎて乗る気すら起こりません。そもそも、障がい者が使用するという発想自体がありません。

しかし、ここデンマークのエグモントでは誰もが安全に使えるように、ディテールまでデザインしています。普通の人と同じように使用できる権利を保障するだけでなく、安全・快適に使用できるようコストをかけているのです。

たかが、ウォータースライダーではありますが、その背景にある考え方や、思想は大きく違います。そのことに大きな感銘を受けました。私は日本で同じようなウォータースライダーができるまでに、30年かかると思います。背景の考え方が、日本ではそれくらい遅れていると感じるからです。

その他、オーフスでは、デンマーク筋ジストロフィー協会の自社ビルを見学しました。

オーフスに滞在した後は、コペンハーゲンに向けて車で移動しました。その途中で、ムシュロム休暇センターを視察しました。

デンマーク筋ジストロフィー協会が管理運営する宿泊、研修施設です。200室あるすべての個室に天井走行式リフトがついていて、重度の障がい者が使いやすいようになっています。

ここに寄ったのはもう1つ大きな理由がありました。それは、協会の会長でグリーンコンサートの創始者のエーバルド・クロー氏と面談することです。彼は、私と同じ重度の筋ジストロフィーのため電動車いすを使用しています。

エーバルド・クロー氏とは、私の3回のデンマーク訪問時と、彼の日本訪問時に交流を深めてきました。私は彼を師と仰ぎ、彼の活動を日本での活動の参考にしてきました。エーバルド・クロー氏との面談は、彼から直接指導を受けられることだけでなく、大いなる刺激を受けることができ

るので、非常に意義深いことです。

彼が行う新事業「子供向けのサーカス」がいかにファンドレイズ（協会の資金集め）につながるかというのを、熱心に語ってくれたのが印象



デンマークのムシュロム休暇センターにて。デンマーク筋ジストロフィー協会会長 エーバルド・クロー氏と一緒に。

的でした。中心的活動であるグリーンコンサートについては、これまでずっと聞いてきましたが、いよいよ私が障がい者の音楽コンテスト、ゴールドコンサートに加えて、収益を目標とした日本版グリーンコンサートを行うと聞いて驚いていました。

彼の主張は、端的には、障がい者団体であっても収益事業を行って運営資金を得るべきであること、収益事業を行うこと自体が障がい者への社会認識をポジティブに変える効果があること、具体的な提案をすることにより社会を変えていくことです。

ムシュロム休暇センターは海が見えるところにあり、今後体育施設など拡大する予定だということです。重度の障がい者が休暇を取るという発想を持つようになる日が、いつか日本にやってくると信じています。

4. グリーンコンサートの今

今年31回目を迎えるグリーンコンサートは、デンマーク筋ジストロフィー協会主催で、全国8か所のツアーで行われる8組の著名アーティストの野外フェスティバルです。大手ビール会社ツボルグ（カールスバーグ）がスポンサーとなり、600名のボランティアが会期中3週間にわたり運営を行ないます。収益金はデンマーク筋ジストロフィー協会の活動に使用されます。

ちなみに、デンマークの人口550万人、国土43キロ平米は日本でいうと四国ぐらいのサイズです。

さて、今回の大きな目的の1つは、このグリーンコンサートの視察でした。特に、今回同行し今後も事業を一緒に進めていく事務職員と、2人のゴールドコンサート実行委員さんに知ってもらいたい気持ちが強かったです。

私にとっては6年ぶり3回目のグリーンコンサート視察でした。過去2回はコペンハーゲン開催分を見ましたが、今回はコペンハーゲンのほか近郊のネストベス開催分も視察しました。

ネストベスでは私たちの視察の様子、私へのインタ

ビューが、新聞とテレビに取り上げられました。国際交流の意味でとても意義深かったです。また今後、事業を進めていく上で大きな励みとなりました。

ネストベスにおいては、現場ディレクターの方がバックヤードを案内してくれました。有給の職員は15名のみで、その指示のもと600名のボランティアが運営にあたるそうで

す。完全にピラミッド型の組織になっていて、役割も細分化されているようです。手持無沙汰のボランティアはあまり見かけなく、少ない人数で効率よく回している感じがしました。役割上本番中は、ハンモックや寝台付バスで寝ている人もいました。

全国を周りながら、3週間ずっと運営にあたり、毎晩のようにパーティーをやるのでボランティアさんはとても忙しいようです。

会場でボランティアさんのチーフと直接お話をさせていただきましたが、非常にモチベーションが高くいきいきとしていました。

野外フェスティバルではビールの売り上げはすごく、やはり国民的ビール会社がパートナーであることはこのイベントの成功の鍵だと思いました。

グリーンコンサート全体としては6年前よりも盛り上がりつつあるような気がしました。アーティストの数や開催都市数が増え、20万人近くまで動員数も増えているようです。見学したコペンハーゲン開催分も4万人のチケットが入場時に完売していました。



デンマークのグリーンコンサート会場にて。現地のテレビの取材を受けました。



グリーンコンサート会場にて。クロー氏と密談中。



グリーンコンサートの様子。

GC グランドフェスティバル 0 開催報告



ゴールドコンサート 10 周年を記念して、2013 年 12 月 7 日（土）大さん橋ホール（横浜港）で、日本初の障がい者が主催するエンタテインメント事業である「GC グランドフェスティバル 0」を開催いたしました。

「GC グランドフェスティバル 0」は、著名アーティストが出演する音楽イベントです。

障がい者が主催する初のエンタテインメント事業として、企業、メディア、地域、行政等と新しい形で手を携え、また多くの人に楽しんでもらい、誰もが持てる能力や個性を「同じステージで。」活かすことができるノーマライゼーション社会の実現を目指しています。障がい当事者が、ホームページ制作、協賛企業の獲得、コラボ T シャツデザイン、ブース運営、名刺作成、そして当日の運営などで関わりました。

初回となる今回はクレイジーケンバンドが出演し、GC グランドフェスティバルの始まりを飾るのに相応しい圧巻のステージ披露となりました。

開演前の記者会見には、実行委員長の NPO 法人日本バリアフリー協会 代表理事 貝谷嘉洋、同実行委員会、社会福祉法人プロップ・ステーション理事長 竹中ナミ氏、ジャーナリスト 田原総一郎氏、衆議員議員 野田聖子氏、昭和女子大学学長 坂東真理子氏、音楽評論家・作詞家 湯川れい子氏のほか、クレイジーケンバンド ボーカル・横山剣氏も参加しました。

【概要】

2013 年 12 月 7 日（土）
大さん橋ホール（横浜港）
料金：指定 6,300 円税込
開場：16:30 開演：17:30
出演：クレイジーケンバンド

【ブース出展】

- ・ 神奈川ロイヤル株式会社（足こぎ車いす「プロファンD」の展示）
- ・ 株式会社コヤマドライビングスクール（運転免許取得のご案内）
- ・ ピザーラ（ピザ、フライドポテト、飲料の販売）
- ・ 「GC グランドフェスティバル 0」×「クレイジーケンバンド」
×「しょうぶ学園」当日 150 枚限定コラボ T シャツ販売
- ・ クレイジーケンバンド CD、DVD の販売

【当日観客動員数】

884 名





とっておきの 音楽祭

VERY SPECIAL
MUSIC FESTIVAL

2014年6月1日(日)

🎵 ストリート演奏 午前10時30分～午後5時(予定)
🎵 フィナーレ 午後5時30分～午後7時(予定)

とっておきの音楽祭 2014 参加者募集中! 締切/2014年2月28日(金) ※当日消印有効

2013 DATA

・開催日	2013年6月2日(日)
・参加グループ数	322グループ
・演奏者数	約3000人
・ステージ数	30ステージ
・延べ観客数	約25万人
・当日スタッフ数	約500人

とっておきの音楽祭は、障害のある人もない人も一緒に演奏を楽しみ、音楽のチカラで「心のバリアフリー」を目指すストリート音楽祭です。音楽のチカラで「心のバリアを打ち壊そう!」と市民ボランティアが実行委員会を結成し、2001年に第1回を開催しました。以来多くの方のご協力に支えられ、心のバリアフリーを目指す街なかの音楽祭として規模も日本最大までに成長し、仙台市のほかにも宮城県内では東松島市、栗原市、東北では秋田市、山形市、福島市、南相馬市、本宮市、会津若松市、盛岡市、九州では熊本市、人吉市、鹿児島市、鹿屋市でも開催され、2014年には大阪府枚方市、2015年には兵庫県篠山市と、全国にも広がっております。合い言葉は「みんなちがって みんないい」。

▶主催 / お問い合わせ

とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI

〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-9-3 6F TEL:022-265-0980 FAX:022-716-5717
MAIL: info@totteokino-ongakusai.jp http://totteokino-ongakusai.jp/

▶共催

NPO法人オハイエ・プロダクツ
〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-9-3 6F TEL / FAX:022-716-5717

無限の夢へ、走りだそう。



RING!RING! プロジェクト

競輪の補助事業

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

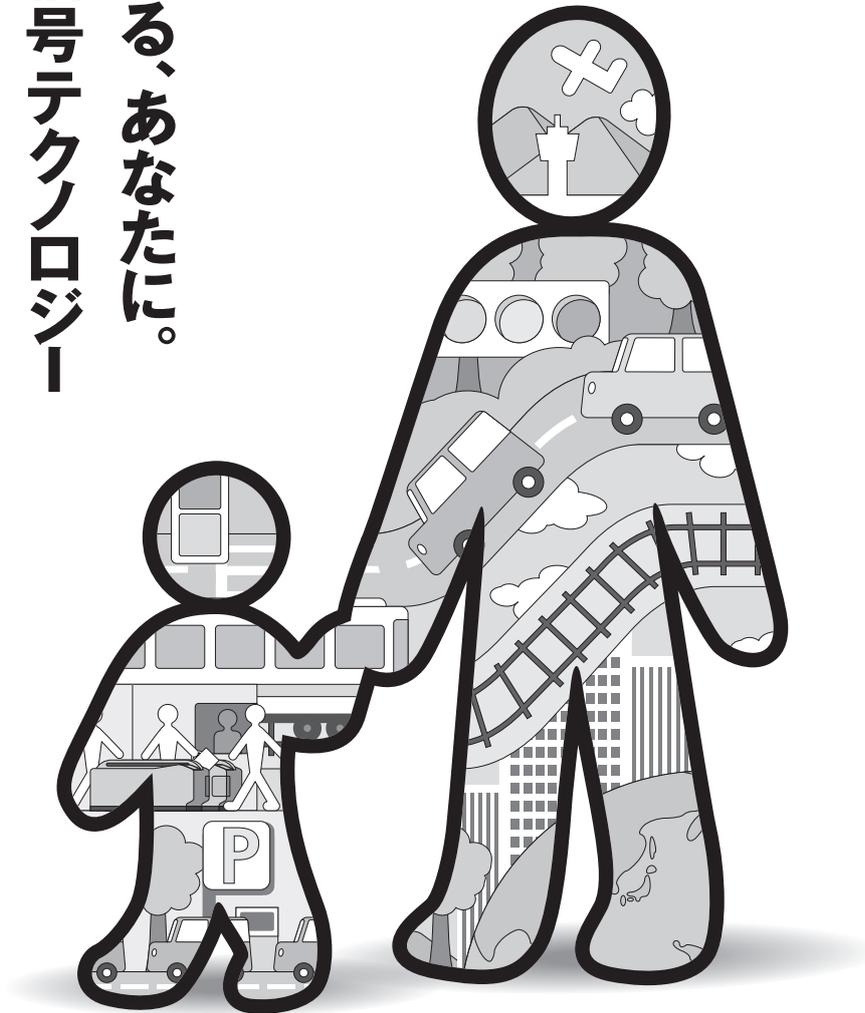
くわしくはウェブで

RING!RING!

検索



でかける、あなたに。
日本信号テクノロジー



駅で、街で、オフィスで、空港で…さまざまな暮らしのシーンに、いつも日本信号。

これからも、日々の生活や社会の重要なインフラを支えるという使命と責任を忘れることなく、安全と信頼のテクノロジーの向上に取り組みます。



PIZZA-LA®

ALL THE TASTE AND TOPPINGS YOU WANT ON A PIZZA
STRAIGHT FROM OUR OVEN TO YOUR DOOR!!



ピザーラのおいしさのヒミツは、素材と手間。
厳選された安心素材を使い、手間を惜しまずかけた
おいしい手作り本格ピザ
『ピザーラメイド』をお届けしています。



ITALIANA

イタリアーナ



お客様宅へ配達する店舗をご案内致します。

ピザーラ 公式サイト

www.pizza-la.co.jp

お客様相談室 ※この番号は注文の受付を致しておりません。

 0120・53・1217 もしくは03-3409-1414までお願いします。
(受付時間10:00~20:00)

当社では、お客様の個人情報を商品のお届け、ご連絡、サービス情報のご案内、サービス改善のための調査以外の目的で使用することはありません。詳しくはピザーラ公式サイトにてご確認ください。

子どもたちのココロに、
あしたの笑顔を咲かせたい。



子どもたちの心に自然を守る気持ちを育む
海の環境工作教室



子どもたちに危険を回避する力を育む
地域安全マップづくり教室



子どもたちの心に
音楽の楽しみと喜びを育む
ふれあいコンサート



親をなくした子どもたちに、進学の夢と心のケアを
あしながチャリティ & ウォーク



子どもたちの心に
音楽への好奇心と感性を育む
未来を奏でる教室



安心して赤ちゃんを産める環境づくりを
Hello!Baby
奨学金プログラム

子どもの明日 応援プロジェクト

子どもたちがいつも笑顔でいられるように、健やかな心を育てあげたい。そんなお客さまのご家族への思いを支えるのも生命保険会社の社会的責任だと考えています。私たちは、企業市民として、子どもたちの笑顔と心を育むさまざまな活動に取り組んでいます。子どもたちの笑顔は、あかるい未来のはじまりです。

うつ病治療に希望を

病気が治ることだけでなく、これから先の患者様の人生が
より良いものであってほしいという願いを込めて。
私たちがめざしているのは、うつ病の寛解、そして、その先の回復です。

Meiji Seika ファルマは、誠実に、謙虚に、
うつ・不安領域で社会に貢献します。



A STAR ALLIANCE MEMBER 

イスタンブールへ、そして世界へ

成田⇆イスタンブール
11:55-18:00
毎日

イスタンブール⇆成田
17:25-10:40+
毎日



関空⇆イスタンブール
22:30-05:35+
毎日

イスタンブール⇆関空
00:50-17:55
毎日

トルコ航空は成田・関空発イスタンブール経由で
世界200以上の都市へ毎日運航しています。

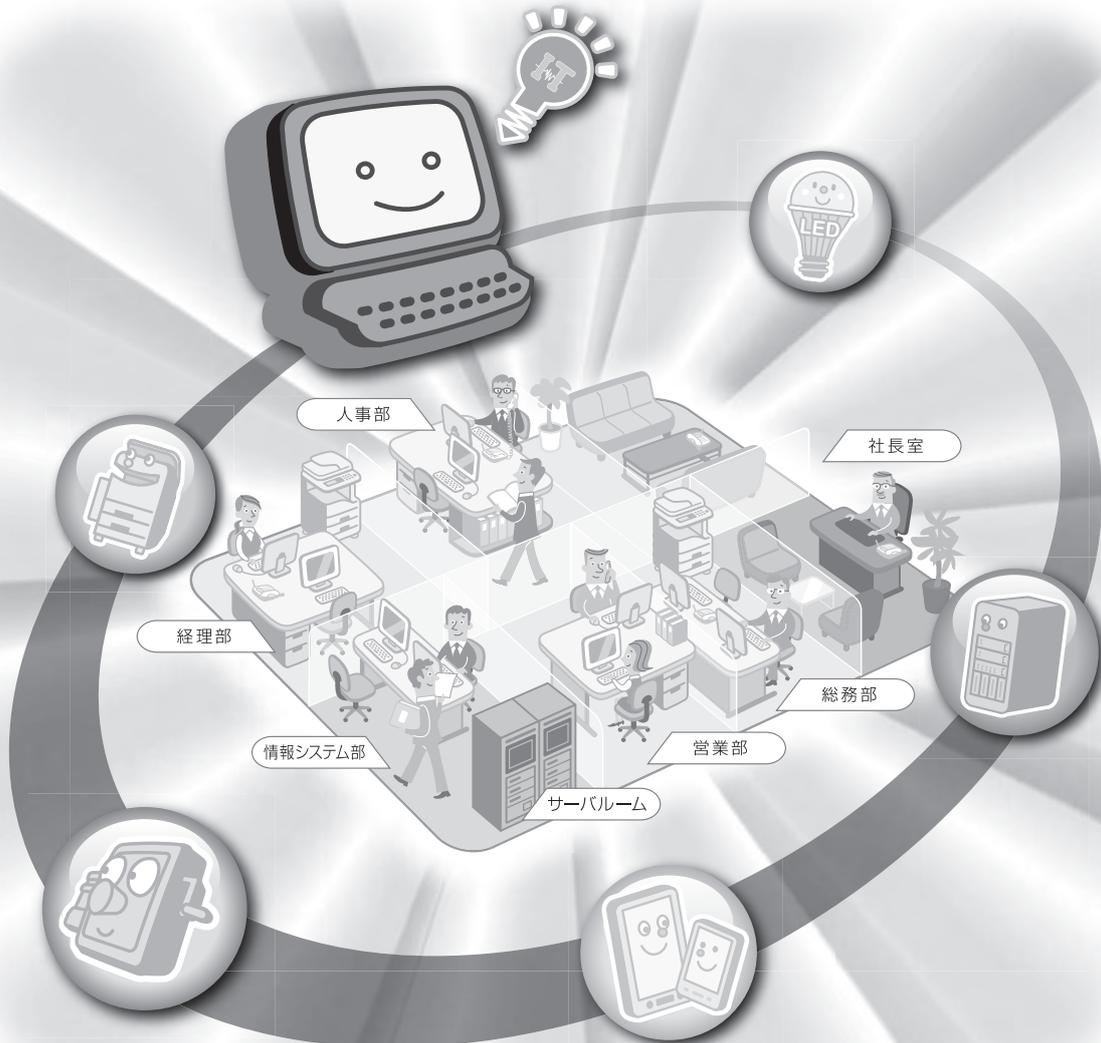
turkishairlines.com

Globally Yours

**TURKISH
AIRLINES**



ITでオフィスを元気にする



今の時代「生産性向上」は企業にとって不可欠なテーマ。
 そのためには、更なる「コスト削減」「業務効率化」が必要です。
 大塚商会は、総合提案で最適なソリューションを追求し、お客様のオフィスを元気にします。

Solutions

- | | | | | | |
|---------|------|------|-----|-------|--------|
| Webサービス | モバイル | 文書管理 | BCP | LED照明 | たのめーる |
| セキュリティ | ERP | 通信 | 複合機 | CAD | 保守サポート |

 株式会社 **大塚商会**

www.otsuka-shokai.co.jp

株式会社大塚商会 本社:〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4 関西支社・札幌・仙台・宇都宮・中部・京都・神戸・広島・九州

関西学院 ミッションステートメント

関西学院は、キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」として、
ここに集うすべての者が生涯をかけて取り組む人生の目標を見出せるよう導き、
思いやりと高潔さをもって社会を変革することにより、
スクールモットー“Mastery for Service”を体現する、
創造的かつ有能な世界市民を育むことを使命とします。

スクールモットー

関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”は、
「奉仕のための練達」と訳され、隣人・社会・世界に仕えるため、
自らを鍛えるという関学人のあり方を示しています。



西宮上ヶ原キャンパス 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
(神学部・文学部・社会学部・法学部・経済学部・商学部・人間福祉学部・国際学部、高等部、中学部)

西宮聖和キャンパス 兵庫県西宮市岡田山7-54
(教育学部、聖和短期大学、聖和幼稚園)

宝塚キャンパス 兵庫県宝塚市武庫川町6-27
(初等部)

大阪梅田キャンパス
大阪府大阪市北区茶屋町19-19 アプロースタワー10階・14階

東京丸の内キャンパス
東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10階

神戸三田キャンパス 兵庫県三田市学園2-1
(総合政策学部・理工学部)

千里国際キャンパス
大阪府箕面市小野原西4-4-16
(千里国際中等部、高等部、
大阪インターナショナルスクール)

関学 検索

<http://www.kwansei.ac.jp>

関西学院は2014年に
創立125周年を迎えます。



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

闘うあなたを、
独りにしない。



…あなたが笑顔になる、その日のために。

Nobelpharma
ノーベルファーマ株式会社

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町12-10 共同ビル(堀留) TEL.03-5651-1160 FAX.03-5651-1222
E-mail:info@nobelpharma.co.jp <http://www.nobelpharma.co.jp>

a global voice
for women

Soroptimist International



日本東リジョン

国際ソロプチミスト川崎



SOROPTIMIST

Best for Women

ベスト・フォー・ウィメン

「夢を生きる」女性に教育とリーダーシップを

2012年～2014年期テーマ

広げよう輪を! 和と話の心を持って

ゆうき だ うんてん めんきよ 勇気を出して運転免許にチャレンジしてみませんか？

くるま うんてん せかい きゆう ひろ
車の運転ができると、世界が急に広がります。



わたし れんしゅう めんきよ と
私もコヤマドライビングスクールで練習して、免許を取りました。

にほん きょうかいだいひょう かいや よしひろ
NPO日本バリアフリー協会代表 貝谷 嘉洋

わたし きん て うんてん あつか
私は筋ジストロフィーですが、手だけで運転するジョイスティックなら扱えます。
せんようしゃ も こ う い きょうしゅうじよ み
専用車の持ち込みを受け入れてくれる教習所がなかなか見つからなかったとき、
ところよう い
早く受け入れてくれたのがコヤマドライビングスクールでした。

みな ねっしん しどう めんきよ
インストラクターの皆さんがとても熱心に指導してくれたおかげで、みごと免許を
しゅとく いま たの す
取得! 今はとても楽しいカーライフを過ごしています。

ゆうき だ うんてんめんきよ あたら せかい ま
勇気を出して運転免許にチャレンジしたら、きっと新しい世界が待っていますよ。



したいしょう かた じょうきょう
肢体障がいの方には、それぞれの状況に
あ きょうしゅうしゃ ようい
合わせた教習車をご用意しています。
じぶん くるま も こ きょうしゅう
また、ご自分の車を持ち込んで教習もできます。

せんかいそうち しゅうどうそうち
旋回装置 手動装置



しゅわ つか こう めいじょう つね
手が使えるインストラクターは、4校で100名以上。常に
けんしゅう かさ
研修を重ね、ブラッシュアップしています。



しまくい しかくきょうざい むすか
「字幕入りの視覚教材」や難しい
たんご せつめい
単語をわかりやすく説明した
ようごかいせつしゅう きょうざい
「用語解説集」など、教材にも
くふう
さまざまな工夫が。



ちゅうしやしやう しせつ
トイレや駐車場など施設も
もちろんバリアフリーです。

めんきよしょう いっしょ て じしん 免許証と一緒に手にした自信

せたがやく よしの たくや
世田谷区 吉野拓也

わたし みぎがわきのうしやうがいも めんきよ と
私は右側機能障害持ちです。免許を取ることになり、
さいしよ きたい ふあん
最初は期待よりも不安ばかり。でも、コヤマドライ
ビングスクールに通ってみると、インストラクター
かたがた たの そつぎょう
の方々がとてもやさしく、楽しくて卒業したくなく
わたし え めんきよしょう
なるほどでした。私が出たものは免許証だけでは
ゆめ かな
ありません。「チャレンジすれば、夢は叶うもの」と
じしん も
いう自信を持つことができました。

Koyama Driving School
www.koyama.co.jp

公安委員会指定/実技試験免除 年中無休/9:30▶21:30

■二子玉川校 TEL03-3709-2551 FAX03-3709-7871 special.f@koyama.co.jp
■石神井校 TEL03-3996-0671 FAX03-3996-0611 special.s@koyama.co.jp
■秋津校 TEL042-396-7070 FAX042-396-7222 special.a@koyama.co.jp
■綱島校 TEL045-531-6461 FAX045-531-6465 special.t@koyama.co.jp

世界にまだないくすりのために。

まだ治せない病気とたたかう人たちの、支えになりたい。

まだないくすりを待つ世界中の人たちの、期待にこたえたい。

世界の明日を変える一錠のために、

わたしたちは挑戦を続けます。



www.astellas.com/jp/

明日は変えられる。



オリックスでは、社会福祉、子ども・青少年、音楽・文化芸術などの分野への支援活動を行っています。



©K.MIUFA



音楽・文化芸術

音楽・芸術文化の振興支援

社会福祉

福祉車両を寄贈

児童養護施設などの子どもたちを
水族館、体験プログラムへ招待



愛は食卓にある。



www.kewpie.co.jp

LED照明は東神電気

tecoled
コスト追求型LEDランプ  テコレッド

- 多様なラインナップ！
 - 専用電源での点灯（外付け電源タイプ）
 - 直結方式（電源内蔵タイプ）
- 充実のラインナップで節電対策に、環境問題に貢献します！

東神電気株式会社
代表取締役社長 寺岡 龍彦

本社：〒532-0033 大阪市淀川区新高1丁目3番8号

TEL. 06(6393)2341

<http://tec-led.jp/>

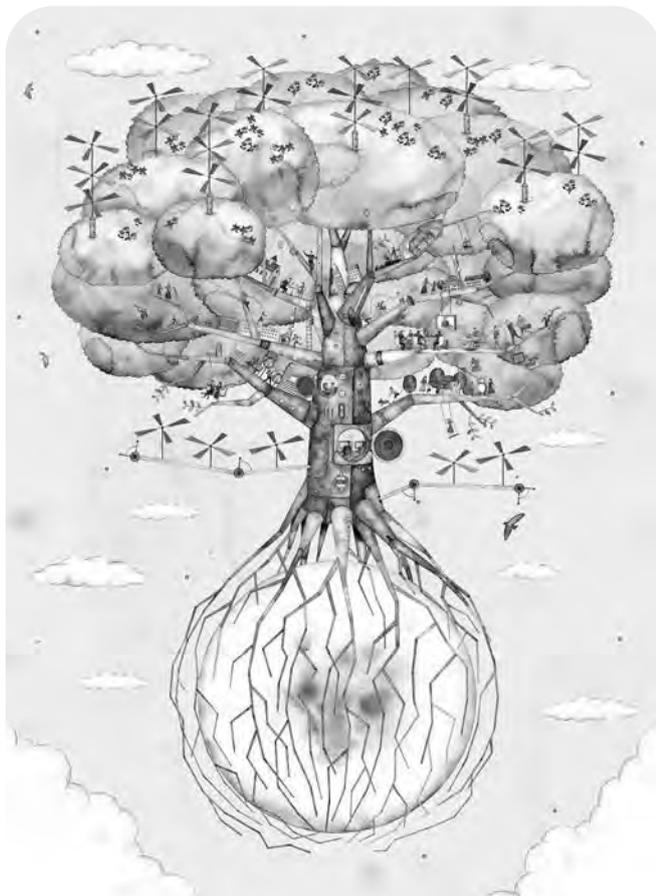


ICTは、
世界をどこまで
運んでいくのだろう。

コミュニケーションの可能性を、
夢を、限りなく広げてくれる、ユビキタス社会。
その生命線となるネットワークを、
わたしたちは先進のITで支えています。

日本コムシス株式会社

〒141-8647 東京都品川区東五反田2-17-1
TEL 03-3448-7030 <http://www.comsys.co.jp/>



からだ 身体で聴こう音楽会



聴覚に障害をお持ちの方々のために、音を振動に変える「体感音響システム」を使ったコンサートを開催しています。

主な活動内容

- 定期コンサートの開催
- 外部団体主催のコンサートへのご招待
- 体感音響システムの貸出

パイオニア株式会社 人事総務部

「身体で聴こう音楽会」係

FAX: 044-580-4014 TEL: 044-580-1062
<http://pioneer.jp/citizen/karadadekikou/>

Pioneer

mont·bell
Outdoor Gear & Clothing

モンベル
それは美しい山

私たちは、自然がどんなに美しく
自然に振る舞うことが
どんなに素晴らしいことかを知っています

Photo: Shozo Nishida

株式会社 **モンベル** 【お問い合わせ】モンベル・カスタマー・サービス ☎0088-22-0031 / TEL.06-6536-5740

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

www.montbell.jp

印刷でお困りでは
ないですか？

社内一貫生産の協友印刷にお任せください！

協友印刷が選ばれる **3つ** のポイント

すべての印刷・製本工程を社内で生産！！

他社に負けない得意分野は中・小ロットのカラーモノクロ印刷！

40年の歴史と万全の品質管理体制！



協友印刷株式会社

〒162-0801 東京都新宿区山吹町332-6

TEL: 03-3267-8056 FAX: 03-3267-8588

<http://www.kyoyuprinting.co.jp>

協友印刷

で検索！



SSK 1971年6月17日第三種郵便物認可(毎月6回500円・02日発行)

2014年1月5日発行 SSK増刊通巻第4332号

10月号は特別増刊号です



Jiba



NPO法人日本バリアフリー協会

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16-801

TEL:03-5215-1485 FAX:03-5215-1735

Mail:info@npjba.org HP:http://www.npojba.org

発行所 〒157-0037 東京都世田谷区砧6-26-21

特定非営利活動法人障害者団体定額刊行物協会 定価100円

編集人 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16-801

特定非営利活動法人日本バリアフリー協会代表理事 貝谷嘉洋